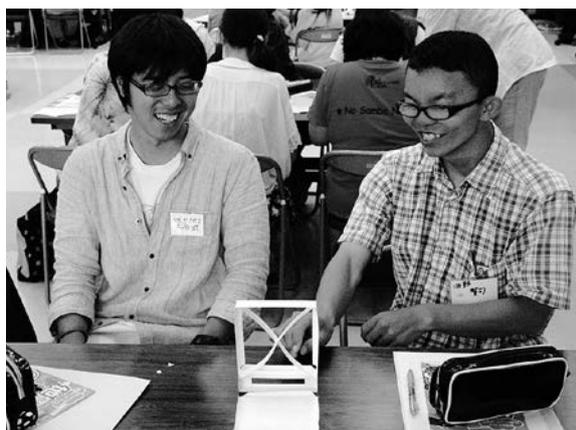


2013 静岡大学公開セミナー報告集

通巻第10号

# 学んで楽しい！—大学で学ぼう—

## 学びの内容とその支援



静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門  
(講座企画 静岡県障害者就労研究会)

2013 静岡大学公開セミナー報告集

通巻第10号

# 学んで楽しい！－大学で学ぼう－ 学びの内容とその支援

静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門  
(講座企画 静岡県障害者就労研究会)



# 目 次

挨拶	2
<b>【概要編】</b>	
講座の趣旨（齋藤 望）	4
静岡大学公開講演会の開催	6
〔講演〕「キャリア教育と生涯学習 障害のある人々にとっての生涯学習」 （渡辺三枝子）	7
<b>【演習・講義編】</b>	
「アイスブレイク～学びのなかま～」（大畑智里）	11
「くだもの（果実）は何でできている？」（小南陽亮）	19
「地震と津波の話」（小澤邦雄）	25
「楽器のお話」（北山敦康、志民一成、長谷川慶岳）	31
「携帯電話の安心・安全」（水野 等）	35
<b>【資料編】</b>	
授業後のアンケート集計結果（社会人・学生） （吉田健一郎、内山 香、増田 萌、齋藤 望）	46
学びのパートナーとして、いっしょに受講して（渡辺明広）	48
これまでの「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」（五條由美子）	52
スタッフ名簿	61
編集後記	62

## 挨拶

公開セミナー「学ぶって楽しい！大学で学ぼう」は、教育学部・渡辺研究室が中心となり、静岡県障害者就労研究会の皆様、各特別支援学校のみなさまや学生の皆さんの協力のもと、継続して実施されているセミナーですが、障害を持つ方々に生涯学習の場を提供しようという特色ある事業で、学内外から注目される取組となっています。今年度は公開セミナーと連動して、障害を持つ方々の生涯学習・キャリア教育についての講演会を開催されました。

本事業を主催するイノベーション社会連携推進機構は、大学と地域との連携を進め、様々な立場・背景をもつ市民の方々の生涯学習を支援することを使命としていますが、継続実施されているこの公開セミナーは、その事業群の中でも生涯学習の理念に沿った特色ある取組であると自負しています。

大学という言葉は「大きな学び」と書きますが、大学の中だけで教員・学生がそれぞれの専門領域を研究し学ぶだけでは、高度かもしれませんが狭い学び、小さな学びの集まりにとどまります。社会とのかかわり、地域の方々との交流の中で、具体的な課題について学びあい、解決に向けて助け合うことで、はじめて大学は「大きな学び」の場になるのではないのでしょうか。地域からの様々な支援を受けて実施されるこの公開セミナーは、そうした意味でも重要な役割を担った事業であると思います。

最後に、「学ぶって楽しい！」の開催にあたっては、実質的な企画をされた静岡県障害者就労研究会のみなさま、ボランティアで講座運営に尽力して下さった各特別支援学校のみなさまや学生たちの多大なるご協力をいただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。

**静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門長 阿部 耕也**

## 挨拶

今年度も2回（通算第16回、第17回）の静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」を開催することができました。この小冊子は、学びの内容とその支援についてまとめた報告書ですが、受講された社会人のみなさんや“学びのパートナー”の学生の感想とともに、さらに学びの内容の深まりを図ることができました。

「学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－」を企画する本会（静岡県障害者就労研究会）は、知的障害のある方や自閉症の人たちが、学校を卒業した後、働くこと（就労）によって自立と社会参加を図ることを支援するための学習や研修を自主的に進めている団体です。研修を進める過程で、働き続けるためには、余暇の時間の有効活用がきわめて大切なことに気づき、その具体的な方法と支援のあり方について考え始めたとき、自己啓発や生活の充実などを目ざす生涯学習に出会いました。全国的にも、各地の大学等で障害をもつ人たちに対する生涯学習についての理念や具体的方法の模索が始まった頃でした。それから、もう足掛け9年になります。

最近では50～60名の受講希望者がお集まりです。リピーターが多いのですが、このセミナーを大変楽しみに、学びを継続されている方が多いと言えましょう。また、教育学部の学生が共に受講し、スモールワーク（ミニ演習）と一緒に取り組み、学習支援などに加わってくれることも、受講者の学びの支えとなっています。“ユニバーサルな学び”であるところも大きな特徴があります。

毎回、ご尽力をいただいている静岡大学社会連携推進機構地域連携生涯学習部門の先生方、講義をしていただいた講師の方々、静岡、焼津、藤枝市の青年学級、スタッフである県下の特別支援学校の先生方、静岡大学教育学部の特別支援教育専攻の学生みなさんなど、多くの皆様に厚くお礼申し上げます。今後とも、よろしくご支援をお願いし、お礼のご挨拶といたします。

静岡県障害者就労研究会代表 渡辺 明広

## 講義の趣旨

齋藤 望

### はじめに

静岡県障害者就労研究会（以下、本研究会）は、知的障害特別支援学校の卒業生の就労の拡大・継続と生活支援の研究活動を行っており、就労を支えるためには、余暇の充実や生涯学習が重要であると考えている。つまり、知的障害者にとっても、学び続ける機会があることは、社会参加の機会と幅が広がり、人生をより豊かにすることができると考えているのである。具体的には、自然界の現象や社会における出来事、さらには専門分野の講義を聴くことを中心に学びを進め、深めることも可能であると思われるのだが、これまではこうした種の学習の機会が、成人の知的障害者には用意されていなかった。

しかし近年、障害のある人への学校教育以外の教育的取り組みは、「生涯学習」という枠組みではないものの、さまざまな実践が展開されるようになった。静岡県内では、2005（平成17）年から、本研究会が、静岡市及び周辺の青年学級等の人たちに呼びかけ、科学と地理、外国文化等についてのテーマの講義を聴く講演会を開催している。毎回、知的障害のある社会人が40～50名、学習支援者として20数名の学生と一緒に受講し、学ぶことができる講座を目指している。

### 静岡のスタイル

静岡での講座を開催するにあたって、本研究会に実行委員会を設置した。そして、先進的な取り組みをしている講座を見学させていただいたり、文献による調査をしたりしながら、静岡ならではのものを作りたいと考え、以下の二点を大切にしていくこととした。

#### （1）主体的な学びに

「こうすることが望ましい」といったことを教える授業ではなく、参加者が「こんなことを学びたい」と思う事項を題材としたい。また、体験活動のみで「面白かった。楽しかった」というような、単なる遊び感覚にならぬよう、「知的好奇心をくすぐりつつ、難しいことを分かりやすく、自分たちなりに考える場を設けた」講義を目指したいと考えた。

そこで、参加者の希望から講義内容を決めた。至極当然のことではあるが、要望に適した講師を探すことは、なかなか容易ではなかった。幸い多くの方々から「こんな先生がいらっしゃるよ」と情報提供していただくことができ、非常にありがたかった。

その後、本講座の趣旨を理解していただいた上で様々な環境設定するために、講師の先生方と何回か打ち合わせをさせていただいた。その中で、視覚や聴覚にうったえる教材を用意することや実験等の体験活動の導入、ワークシートへの記入及び小グループによる話し合いの時間（スモールワーク）の確保といった展開が有効ではないかと考えた。受講生の学びの様子や感想、アンケートの結果から見ると、こうした環境設定が魅力ある講義につながったと思われる。

#### （2）ユニバーサルな学びに

講義の中で、課題解決に向けて意見交換をすることにより、お互いがお互いを理解したり、共に学ぶことができ良かったという充実感や達成感を持ったりすることは、非常に意義深い。しかし、他地域でも障害のある人と障害のない人が一緒に学ぶことができるよう努力しているが、実現している所は少ないようである。

そこで、本講座では静岡大学教育学部特別支援教育講座の学生に、学びのパートナーとして共に講義に参加し、必要最低限の支援のみしてもらおうよう依頼した。（基本的には参加者本人の自

主性に任せ、参加者が困っていたり参加者に質問されたりした時のみ支援する。）

お互いが、普段接したことのない人との共同作業であったが、学生諸君が学習活動を通して参加者の意見を引き出してくれる場面が多くみられた。また、感想文から参加者のひたむきな態度が、学生には響くものがあったこともうかがうことができ、「共に学ぶ」という目的に近づくことができたと考えている。

## 【実施要項】

### ○第16回実施分

- ＜講座名＞ 第16回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—  
（平成25年度静岡大学公開セミナー）
- ＜期 日＞ 平成25年6月23日（日）
- ＜場 所＞ 静岡大学学生会館3Fホール
- ＜対 象＞ 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人
- ＜講師及び講義内容＞
- 大畑 智里先生「アイスブレイク～学びのなかま～」  
静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士
- 小南 陽亮先生「くだもの（果実）は何でできている？」  
静岡大学教育学部理科教育教室 教授
- 小澤 邦雄先生「地震と津波の話」  
静岡大学防災総合センター 特任教授

### ○第17回実施分

- ＜講座名＞ 第17回 学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—  
（平成25年度静岡大学公開セミナー）
- ＜期 日＞ 平成25年10月20日（日）
- ＜場 所＞ 静岡大学学生会館3Fホール
- ＜対 象＞ 静岡市と周辺の地域の知的障害をもつ社会人
- ＜講師及び講義内容＞
- 大畑 智里先生「アイスブレイク～学びのなかま～」  
静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭、学校心理士
- 北山 敦康先生「楽器のお話」  
静岡大学教育学部音楽教育講座 教授
- 志民 一成先生  
静岡大学教育学部音楽教育講座 准教授
- 長谷川慶岳先生  
静岡大学教育学部音楽教育講座 講師
- 水野 等様 「携帯電話の安心・安全」  
（株）NTTドコモ 東海支社 総務部広報室

## 静岡大学公開講演会の開催

**趣 旨** : 近年、各地で展開されている大学を活用した知的障害者の生涯学習については、関係学会などで多くの成果が報告されてきたが、草創期を過ぎた今、学校卒業後の学習内容や学びの方法について質的な検討の必要性が指摘されている。

そこで、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくというキャリア発達の視点から、障害のある人の生涯学習についての質的な検討を始める機会とする。

**主 催** : 静岡大学イノベーション社会連携推進機構地域生涯学習部門

**企 画** : 静岡県障害者就労研究会

**日 時** : 平成25年10月20日（日） 13時15分～16時00分

**会 場** : 静岡大学会館3階ホール

**講 師** : 渡辺三枝子先生  
(筑波大学名誉教授、専門はカウンセリング心理学、職業心理学)

**講演題目** : キャリア教育と生涯学習  
障害のある人々にとっての生涯学習

**受講者** : 一般市民。主に小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等の関係者、約150人。

**受講料** : 無料

## キャリア教育と生涯学習 障害のある人々にとっての生涯学習

筑波大学名誉教授 渡辺三枝子

### I. キャリア教育についての共通理解

- ① 似て非なるもの  
職業教育との関係  
進路指導の関係
- ② キャリア教育とは：一人一人の社会的自立と発達を促進することを目指して、全教育活動の改善を実行する教育改革運動
- ③ すべての子どもは教育の機会を通して発達させられるべき  
現状の我々は、子どもたちの発達の可能性を信じているか  
福祉と教育の違い  
すべての子どもは発達する価値があるという信念
- ④ 環境の改善への働きかけ

#### 《参考》

キャリア教育とは「教育改革の理念であり方針、教育界核運動のひとつ、キャリア発達や個の自立を促す視点から、従来の教育のあり方を幅広く見直し、改革していくための理念や方向性を示すもの」

児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てるという教育の理念

出典 文部科学省「キャリア教育の推進 報告書」

### II. 生涯学習の出発点であり、土台作りであるキャリア教育の意義

#### 1 キャリア支援・キャリア教育の必要性

障害を持つ人の職業選択支援の場面で配慮しなければならないことがある。それは支援の場で見いだされたことである。たとえば、幼い頃の経験が限定されていたり、職業や進路についての探索経験の機会が少ない、また進路・職業についての情報が非常に限定されているとか、障害のゆえに意思決定力を育てる機会が少なく、障害に対する社会のネガティブなイメージやステレオタイプの影響で積極的な自己イメージを持ちにくくなっている等の傾向がある、という現実にある。

進路選択時までには、障害をもつ児童生徒が多様な経験の機会に恵まれ、幅広い探索行動を体験

できること、学校や家庭での日常生活の中に無数ある意思決定場面を意識的に活用すれば、意思決定能力を育てられること、ネガティブな自己概念を払しょくする経験を通して積極的（空想的ではない）自己イメージを発達させることがいかに重要かということである。換言すれば、社会に移行する前までのキャリア発達段階においてすべての青年が達成させておくべき能力と同じであり、学校時代のキャリア教育の目標そのものである。

（Herr, E.L., Cramer, S.H., & Niles, S. (2004) Career guidance and counseling through the life span, Systematic approaches (6<sup>th</sup> ed.) Pearson.より引用）

## 2 「キャリア」という言葉についての理解

① 「働く（work）こと」との関係づけや価値づけの累積」（文部科学省の報告書より）

生涯にわたる働くことで得られる様々な体験の意味付け、価値付けの累積としての生き様のこと  
と「個人が自分の体験を価値付け、意味付ける」結果としての人生

② キャリアには個別性と、生き様は個々人が決めるという自己責任性が内包されている

## Ⅲ. 生涯学習の背景：中核となる概念

### 1 「すべての人は、生涯発達し続ける」という信念

① 心理学・教育学の言葉としての発達とは、「個人が時間経過に伴ってその身体的・精神的機能を変えていく過程であり、成長と学習を要因として展開される」ことを意味する。この定義から明らかのように、年齢と学習の相互作用によって起る現象である。

② 発達はすべての人に起る現象

発達の速度や様相は、個人の生育環境、時代、個人の持つ条件や特性によって異なりうるが、すべての人は発達する。

③ 発達は生涯つづく「過程」である。

発達とは、受胎から死に至るまでの心身の形態や機能の成長・変化を意味する。発達は一時期の出来事ではない。生涯にわたる時間的流れを背景としている。

「過程」とは時間的経過だけを意味するのではない。「過程」とは目標に向かって「前進する」という意味を含んである。

④ 発達には漸次的があると同時に、連続的（蓄積的）な過程と不連続（革新的）なの両方が機能して起る過程

発達は容易から複雑、具象的から抽象的、概念的等方向で、連続的に進行・蓄積され、徐々に変化する側面と、連続性のない革新的な変化も起こり、その両機能で発達は促進される。

⑤ 発達は個人内では可変性がある。

個人の生活条件と経験によって、個人の発達の仕方。道筋は様々な形態を取りうる。したがって発達の支援では、個々人に注目することが重要となる。

⑥ 発達は社会的環境との相互作用の中で起こる

人の発達、歴史的、文化的、社会的条件によってきわめて多様でありうる。したがって、どのようにして個人の発達が進むかは、社会的・文化的環境条件とその後の変化・推移によって著しく影響を受ける。その意味でキャリア教育の実践には、子供の成育環境とその社会の将来像に対して強い関心を持って、今すべきことを決める必要がある。

#### IV. 生涯学習時代の意味

##### 1 個人の側の発達

① 社会・経済環境の変化が激しい時代に、学校の準備は基礎基本であり、生涯、役立つ知識や技能を学習させることは不可能

社会生活を通して学び続けるための基盤づくりが一層大切となる

② 未知の世界に挑戦できる関心と勇気をもつこと

③ 「学ぶこと」への恐怖心を持たず、面白みを持てること

④ 基礎的態度と能力：社会に生きる力、人間関係の中に生きる力、

##### 2 社会・産業界側の変化が不可欠

障害を持つ人の発達、勇気、学びを促す努力

#### V. 障害を持つ人々の生涯発達を促すために必要な知識と認識：「働くこと」の現代的意義

##### 1 「働くこと」とは、paid work（職業）だけではない。

児童生徒にとって、働くことは「学ぶこと」、学ぶことは生きること  
学校、家庭、地域でのさまざまな「役割（係り活動など）」が意味を持つ  
自分自身の「仕事」をマネージする責任をとる機会を持つことが必要

##### 2 働くことで生涯発達が促進される

社会においても働くことが学ぶことを促進する。（社会におけるキャリア教育）

《参考》： Work {働くこと} の定義

物、サービス、あるいは、社会的あるいは私的価値を有する社会的関係を作り出す諸活動  
(Richardson et al, 2005)

Blustein (2006) の定義した4点 workとは、

① 個人のアイデンティティを作り出す

② 意味づけをもたらす。その意味づけは単に個人に由来するものではなく、社会と文化から来る

③ 地域を社会的にも経済的にも支援する野に貢献する社会志向的な有益な活動で、収入を伴う場合も収入を伴わない場合もある

④ 「時間と文化をこえて、人間をつなぐこと；

また、

⑤ work は、生存と権威、社会的繋がり、自己確信という3つの欲求を満たす。

【講義・演習】

アイスブレイク～学びのなかま～

大畑 智里

2013-6-23 「学ぶって楽しい！」

# アイスブレイク

## まな ～学びのなかま～

静岡大学教育学部附属特別支援学校  
大畑 智里

### アイスブレイク

たくさんの方がいるこういう場合は・・・



緊張する～。

知っている人が  
いてほしい！

隣の人はどんな人？

氷のように  
カチンカチンの“ころ”を  
ときほぐすこと



### ワンポイント 心理学



#### ストレス

カナダのハンス・セリエが  
ストレス理論を提唱

私たちは 毎日 いろいろなストレスを 抱えている。

#### ①物理的・科学的なストレス

暑さや寒さ、騒音や悪臭、ケガなど



#### ②生理的なストレス

空腹や病気、疲労など



#### ③心理的・社会的なストレス

人間関係の不安、緊張、怒りなど



### アイスブレイク

#### 新聞くぐり

さあ、ドキドキ。  
協力しよう。

新聞で作った輪を 何人で 通りぬけられるかな？

① 新聞紙をやぶり 輪をつくります。

② 一人ずつ 通りぬけます。

③ 一度に通る 人数を 増やしてみましょう。  
輪の持ち方や置き方を 工夫してみましょう。

・・・新聞がやぶれてしまわないように気をつけましょう。



### ワンポイント 心理学



#### ストレスの種類

ストレスって、悪い  
イメージがあるけど・・・

ストレスには 悪玉ストレス と 善玉ストレス がある。  
人間には 適度な 善玉ストレス(良いストレス)が必要。



難しいことがあると  
がんばれる

チャレンジしたあとは  
うれしくなる

目標があると強くなれる

### ワンポイント 心理学



#### ストレスを減らす 3つの“R”

ストレスがたまってきたら それを自分自身を知って  
上手に 発散することが大切。

3R  
(すいーあーる)

#### Rest レスト : 休けいーやし

休めるときに休むこと(ねむったり、たべたり...)

#### Recreation レクリエーション : 趣味(しゅみ)

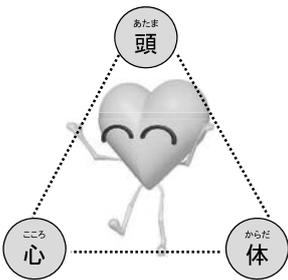
好きなこと、たのしくなれること

#### Relaxation リラクゼーション : リラックス

お気に入りの方法を見つけること  
(深呼吸する、音楽をきく、お風呂にはいるなど)



すいー あーる まい にち けん き  
“3R”で 毎日元気に  
すごしましょう！



きょう じしん つなみ くだもの はなし  
今日は「地震と津波」と「果物」のお話です。  
なかま いっしょ まな  
仲間と一緒にじっくり学びましょう！

2013-10-20 「学ぶって楽しい！」

# アイズブレイク

## まな ～学びのなかま～

静岡大学教育学部附属特別支援学校  
大畑 智里

### アイズブレイク たくさんの人がいるこういう場合は…



緊張する～。

知っている人が  
いてほしい！

隣の人はどんな人？

氷のように  
カチンカチンの“ころ”を  
ときほぐすこと



### ワンポイント 心理学



#### ストレス

世の中いろいろな人がいます。  
そして いろいろなことが 起こります。  
ストレスには 良いストレス(善玉ストレス)と  
悪いストレス(悪玉ストレス) があります。



自分の感情(気持ち)を  
見つけられるようになろう

前回の演習で  
お話をしました。

### ワンポイント 心理学



#### 怒る

人間関係を難しくする  
ものの一つの感情。

自分の怒りの感情を見つけましょう。



怒りは 自分の想像とちがったり

思い通りにならなかった時に 生まれる。

- ・深呼吸をして 落ち着く
- ・誰かに話を 聞いてもらって 落ち着く

⇒心の温度が上がらないように 気をつける。



### ワンポイント 心理学



#### 泣く…涙を流す

ストレス発散に 泣いてスッキリする ことも大切です。  
人は泣くことで ストレス物質を 体の外に出しています。

#### 【女性が泣く理由】

- 悲しみ 50%
- 喜び 20%
- 怒り 10%



ウィリアム・H・  
フレイII世  
博士が提唱。

⇒泣いた理由によって 涙の味もちがうもの…。

### アイズブレイク



#### スノーブレイク

さあ、お互いの  
違いを感じよう。

みなさんにわけた 紙を上手にちぎりながら  
雪の結晶のような形を 作りましょう。

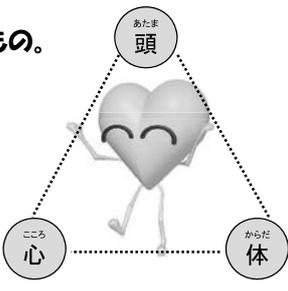


- \* みんなで一緒にやりましょう。
  - \* まわりの人は気にしないで 思う通りにやりましょう。
- ① 「2つに折ってください」「右側をちぎってください」
  - ② 「2つに折ってください」「左側をちぎってください」  
…つづきます…。

ひと ちが  
**人それぞれ 違いがあるもの。**

それが **トラブル** になって  
**ストレス** を感じることも  
あるけれど…。

ひと あ ころ  
**人と会うことで 心や**  
**体が 元気になります。**



きょう おん がく けい たい でん わ はなし  
今日は「**音楽**」と「**携帯電話**」の お話です。

きょう で あ たい せつ いっしょ まな  
今日の出会いを大切に 一緒に学びましょう！

[演習のまとめ]

## 「アイスブレイク ～学びのなかま～」

### 演習の設定にあたって

本講座では受講生だけでなく、学びのパートナーである大学生が多数参加している。講座の当日、参加者である受講生と学びのパートナーは初めて出会い、共に講義を受け、活動するということは誰しも非常に緊張度の高いものである。そこで、この演習を講義前に設定することで、受講生同士、または受講生とパートナーの間に良好な関係が早くに築かれ、その後の講義での積極的な学びに良い効果が期待されるであろうと考えている。

#### <重視した点>

- ①受講生同士、または受講生と学びのパートナーとの関係づくりの基礎になるように、活動的なエクササイズを取り入れること。
- ②社会生活の中で人間関係に悩みをもつことの多い受講生にむけて、人間関係づくりの基礎となるような心理学的な知識を学ぶ機会とすること。
- ③スライドや資料などの視覚的な教材を取り入れ、理解の促進と定着を図ること。

### 【演習1（6月）の内容】

#### ○ アイスブレイク エクササイズ「新聞くぐり」

演習の冒頭、参加者同士の関係づくりのためにエクササイズを行った。初めて出会う受講生同士、初めて出会う受講生と学びのパートナー・・・他にも、この会への初めての参加者などもいる中で、会場は少々の緊張感に包まれている。そこで互いの関係づくりのために、協力し合って楽しめるようなエクササイズを用意した。今回は一枚の新聞紙を手でちぎりながらくりぬくことで作った輪を、何人で通り抜けられるのかというものである。



「こんな大きな輪ができたよ!!」「何だか破れそうで心配。」と言いながら、グループの中で輪を持つ人、輪をくぐる人、周りで応援する人に分かれて活動を行った。上手にくぐるたびに会場から歓声が上がったり、拍手が聞こえてきたりし、輪をくぐる人の人数も一人から二人、三人になった途端破れたり様々だった。エクササイズが進むにつれ、互いに協力し合い、楽しそうな笑顔が生まれ、会場の緊張感も溶けていったように感じられた。

#### ○ ワンポイント心理学

ワンポイントとして「ストレス」について取り上げる。人は毎日の生活の中で様々なストレスを抱えるものだが、それらはすべて悪いものではなく、適度な量と種類のストレスは人にとって必要なものであることを伝えた。そして、悪いストレスがあったり、ストレスが多すぎたりすると生活にも心身にも影響が出るので、3つの“R”をキーワードに生活づくりを紹介した。3Rは、①Rest：癒しや休憩をとること、②Recreation：趣味をもつこと、③Relaxation：リラクスの方法を増やすこと、である。これらの3Rを生活の中で大切にし、ストレスと上手につきあいながら社会人として充実した生活を送ることの価値について考えるきっかけになったようである。

#### ○ 演習のまとめ

受講生からは3Rの話の中で、スポーツや旅行などの趣味、ゆっくり入浴をすることや音楽

でリラックスをすることなど、本人たちなりに生活を充実させているということの声が上がった。趣味を増やすことが単に生活の彩りとしてだけでなく、心身の安定のためにもよい影響をもつことに気づき、今後の生活づくりに生かして行ってほしいと感じた。

## 【演習2（10月）の内容】

### ○ ワンポイント心理学

6月のストレスとのつきあい方の続きとして、“自分の感情を見つけられるようになる！”との話をする中で、主に「怒る」「泣く」の感情について取り上げた。

「怒る」ということは、その人にとって自分の想像と違ったり、思い通りにならなかったりする時になりやすく、心の温度計のようなイメージで考えると良い。心の温度が上がってしまいそうになったら、深呼吸をしたり、話を聞いてもらったりして、温度を下げるのが大切なことである。

また「泣く」ということは、人のいろいろな感情のあわれみである。心理学上、女性の泣く理由の50%は“悲しみ”の感情であることなども例にふれた。泣くことはすべてが決して悪いことではなく、人は泣くという行為でストレス物質を外に出そうとしているので、“泣いてスッキリする”という言葉のとおり、泣きたい時には泣くことも生活の中で必要なことである。

### ○ アイスブレイク エクササイズ「スノーフレイク」

「怒る」「泣く」ことの話をした後、人それぞれに感じることや考えることにはもともと違いがあって、違いがあるからトラブルも起きるけれども、違いを認め合えることは人間関係において、とても大切なことなのだまとめた。そのためにも、エクササイズ「スノーフレイク」に取り組む。

同じ大きさの一枚の紙を、折ってちぎって、折ってちぎって・・・同じことを全員で取り組んだはずなのに、その紙を開いてみると一人一人形は違い、同じ形は一つもない。まるで人の心、人の性格のように、それぞれが違ってそれでよいのだということ、エクササイズを通して会場全体で感じる事ができた。

### ○ 演習のまとめ

人それぞれの違い、その人なりの感じ方・・・違うからこそすれ違いも起き、違うからこそ発見もあるということを知識と体験を通して確認できたように思う。“自分の感情を見つける”ということとはとても難しいことだけれども、その大切さを感じ、自分の心とつきあいながら生活を充実させて行ってほしいと考える。

### おわりに・・・

6月と10月の2度の機会に、今年は「ストレス」をキーワードに学びを深めていった。職場の人との人間関係、友人とのトラブル、仕事上で生じる課題など、受講生にも悩みはつきないものである。当然、社会に出ればそういうものではあるが、上手に対処方法を講じながら自分や周囲の人とつきあって行ってほしいと考える。

今回の「3R」や「感情のコントロール」などにより、社会生活を送る上で自分にとって必要な学びを一つでも多く獲得し得るような場として、今後も演習『アイスブレイク～学びのなかま～』を作っていくと感じた。また、受講生にとって様々な情報を得、学びを促進させるためにも、エクササイズなどの活動的な場を保障しながら、丁寧に実践に取り組んでいきたいと考える。

（大畑 智里）



【講義】

くだもの（果実）は何でできている？

小南 陽亮

くだもの（果実）は  
何でできている？

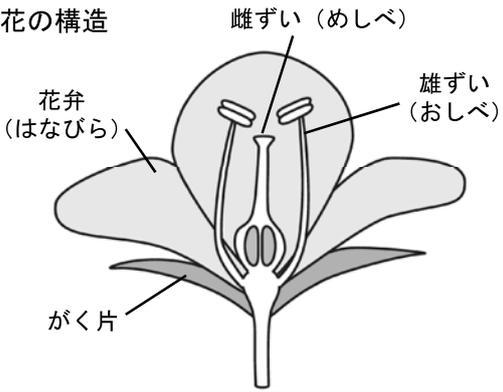
～花と果実を科学の目でみる

植物の花にはさまざまな形がある



植物の花は何でできている？

花の構造



雌ずい (めしべ)

雄ずい (おしべ)

花弁 (はなびら)

がく片

植物の花は何でできている？

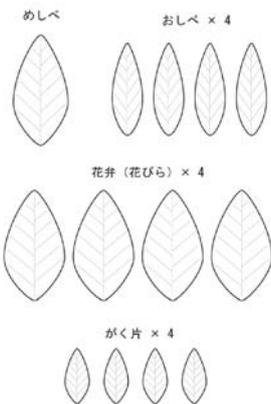
植物の体は3つのものでできている

葉 → 花

茎

根

植物の花は何でできている？



めしべ

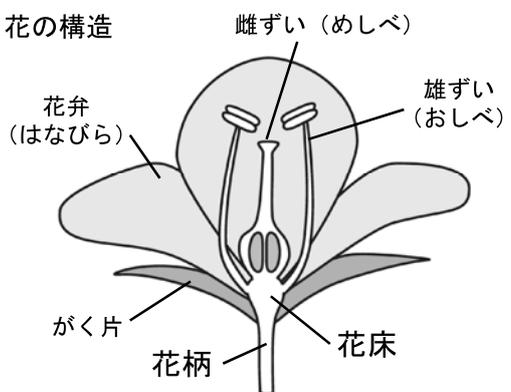
おしべ × 4

花弁 (はなびら) × 4

がく片 × 4

植物の花は何でできている？

花の構造



雌ずい (めしべ)

雄ずい (おしべ)

花弁 (はなびら)

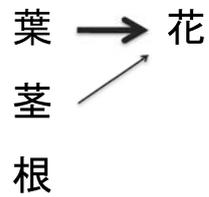
がく片

花柄

花床

### 植物の花は何でできている？

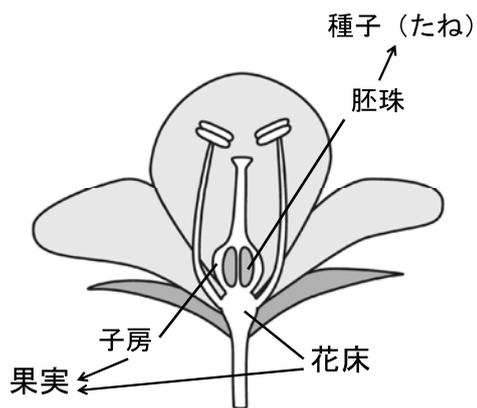
植物の体は3つのものでできている



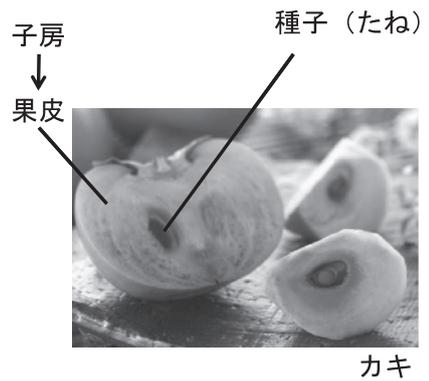
### 果実にもさまざまな形がある



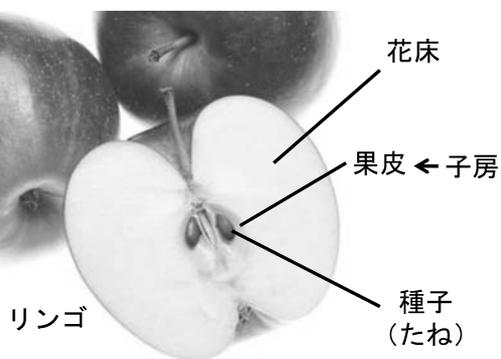
### 果実は何でできている？



### 果実は何でできている？



### 果実は何でできている？



### 果実は何でできている？

カキを食べる時・・・

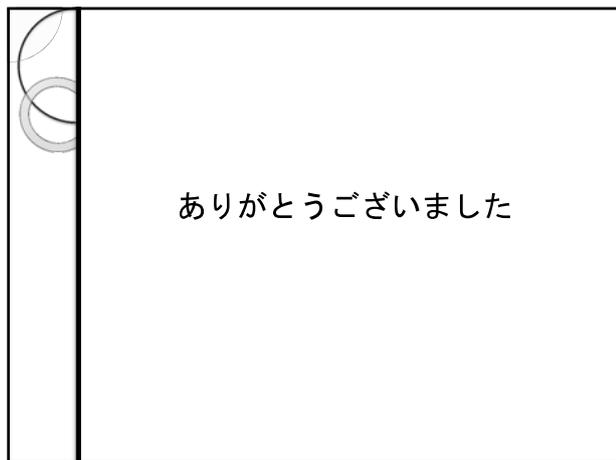
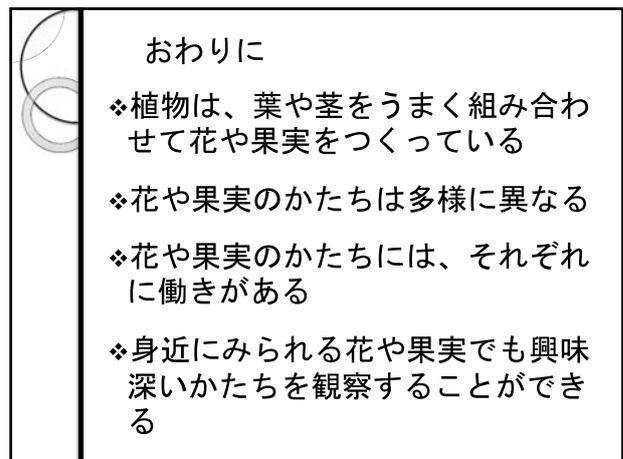
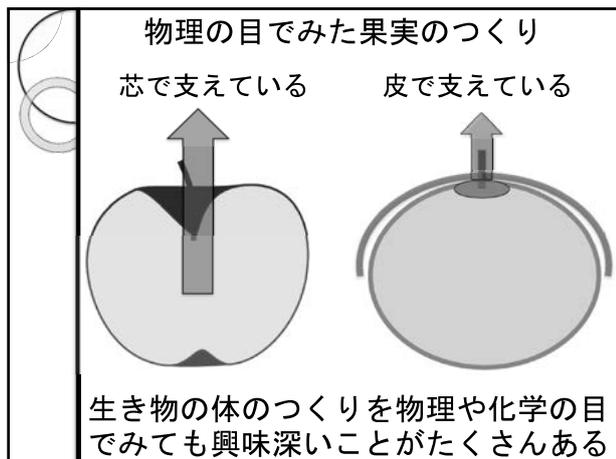
子房からつくられた果皮を食べている

**葉** モモ、ウメ など

リンゴを食べる時・・・

花床が肥大化したものを食べている

**茎** イチゴ、ナシ など



## 【講義のまとめ】

# 「くだもの（果実）は何でできている？」 ～花と果実を科学の目でみる～

## 講義を設定するにあたって

日常の生活の中でも親しみ深い「植物」をテーマにし、その不思議な仕組みに焦点を当て講義を設定した。植物がどのようにして果実を作っているかを、紙を使った工作とりんごやみかんを観察することで学習を行う。また、果実にはさまざまな形態があることについても学びを深めたいと考えた。

### <重視した点>

- ①講師が受講生の特性を理解した、大学の専門的な研究者であること。
- ②参加者に内容を分かりやすく伝えるために、視覚的教材を活用すること。
- ③話を聞くだけでなく、花やくだもの仕組みを理解するために、工作などの活動を通して理解を深める。

## 講義の内容

### ①花は何でできている？

果実は花からできている。花は葉からできている。

### ②葉から、花を作ってみよう。

雌しべになる葉、雄しべになる葉など、合計13枚の葉が描かれたシートをもとに、花をつくる。

#### <作り方>

#### 1. 雌しべ

切り取り、先を山折りする。根本が膨らむように丸め、テープでとめる。

#### 2. 雄しべ（4本）

切り取り、先を山折する。細く丸め、テープでとめる。

#### 3. 花弁（4枚）

切り取り、好きな色や模様を塗る。

#### 4. がく片（4枚）

切り取り、好きな色や模様を塗る。

5. 1～4をストローにテープで貼る。花床に見立てた、ストローの赤い部分に、1～4の順で貼っていく。

#### 6. 花弁、がく片を開く

### ③果実は何でできている？

子房と花床が果実となり、胚珠が種子となって果実を作る。

果実にはいろいろな種類があり、大きく以下の2つに分けられる。

- ・子房からつくられた果皮を食べるもの。（カキ、モモ、ウメなど）
- ・花床が肥大化したものを食べている。（リンゴ、イチゴ、ナシなど）

### ④花の構造

植物は・葉・茎・根の3つからなる。

その中で花は葉からなる部分と、茎からなる部分に分けられる。

- ・葉からできている・・・雌しべ、雄しべ、花弁、がく片
- ・茎からできている・・・花床、花柄



### ⑤物理の目で見えた果実のつくり

芯で果実をささえるものと、皮で果実を支えるものがある。

紙粘土やわりばし、紙からつくられたレプリカを用いての説明。

### ⑥おわりに

- ・植物は、葉や茎をうまく組み合わせて花や果実をつくっている。
- ・花や果実のかたちは多様に異なり、それぞれに働きがある。
- ・身近に見られる花や果実でも興味深いかたちを観察することができる。

## スモールワークの様子（アンケートの記述から 原文のまま）

### 【社会人・学びのパートナー】

#### <内容について、感想など>

○楽しかった(2) ○工作に思わず熱くなった。 ○花は葉でできているとは驚きでした。果物は花からできたり、茎の上でできたり知らないことがいっぱいありました。(2) ○花の作りや果実のどこがどうなっているかが分かって勉強になり、ますます花・果実が好きになりました。 ○果物の形に色々なものがあったので、面白かったです。 ○花作りが難しかったけど楽しかった。(8) ○もっと知りたいと思いました。 ○果物の色々な話が聞けて良かったです。 ○葉っぱがいっぱいあった。 ○色塗りが楽しかった。 ○果実も花も構造が大体同じということが分かった。 ○また、やって欲しい。

#### <学びのパートナー（学生ボランティア）の声>

○工作がとても楽しくできました。 ○果物や植物のしくみについて分かった。 ○細かい作業は難しいなと思った。 ○手順が分かりやすくとても良かったです。 ○はさみで切るものが多くて時間がかかった。もっと簡単にできたら良いと思う。(2)

## 講義を聴いて

桜やタンポポなど身近な植物の紹介から、科学的に見た植物のつくりまで、わかりやすくお話しをいただいた。

葉から花を作るワークでは、葉っぱの形の紙を組み合わせていくことで学びのパートナーと協力しながら、夢中になってつくる姿が見られた。花が完成したときには、あちらこちらから「できた!」という歓声が聞こえた。実際に作ってみることで、花が葉からできているということが理解できた。

身近な植物に関心もつきかけとなるような有意義な内容であった。

(西塔卓也、品川綾香、齋藤 望)

【講義】

地震と津波の話

小澤 邦雄

# 地震が起きたら

# どうなるの?!

## 地震はさまざまな被害をもたらします

- 弱い建物が壊れる・倒れる 
- 強い建物が壊れる・倒れる 
- 道路が壊れる・崩れる 
- 家具などが倒れる 
- 山崩れや崖崩れが起こる 
- 火事が起こる 
- 津波がやってくる 

**津波に気をつけよう**  
 地震が起きると、津波が押し寄せる場合があります。巨大な波のため、海岸を乗り越えて、みんなの街まで波がやってくることもあります。  
 すぐに高いところへ!



## 地震が起きたらどうしたらいいの?

**まず自分の体を守る**  
 揺れがおさまったら、すばやくひなん! おさないはしらないしやべらない  
 あわてるのはダメ!  
 ひなんしたらもどるのはダメ!  
\*津波がくるときなど、はしることが必要なときもあるよ。



## 緊急地震速報って?

「緊急地震速報」とは、大きな地震が起きたときに、地震の強い揺れがはじまる数秒前~数十秒前に、大きな揺れが来ることをテレビやラジオでお知らせする情報です。



# 避難するときは どうしたらいいの?

## 家の中で

- 持ち物は小さくまとめる  
避難するときの持ち出し品は、日頃から準備・点検をして、リュックサックなどにまとめておきましょう。

非常用

- 避難するときの服装と持ち物
  - 服装
    - ・ヘルメットまたは防災ずきん
    - ・長袖の衣類と長スボン
    - ・底の厚い靴
  - 持ち物
    - ・非常持ち出し袋 (リュックサック)
    - ・非常食、ティッシュペーパー、手袋、マスク、おくすり手帳のコピー、懐中電灯、携帯ラジオ、飲み水、ホイッスル(笛) など

- 底の厚い靴を履きヘルメット・防災ずきんをかぶる
- ガスの元栓を閉め電気のブレーカーを切り戸締まりをする

## 家の外で

- 家族やまわりの人といっしょに行動する
- 崖下や川沿いなど危険な場所を通らない
- 避難場所までの道は、普段から家族と相談し、決めておく
- NTT災害用伝言ダイヤル171で安否確認ができます。公共電話・一般電話・携帯電話から利用可能。171へ電話をして音声ガイダンスに沿って操作しましょう。
- 災害用伝言板  
大きな地震などが起きた時は、携帯電話(NTTdocomo・au・softbank)から災害用伝言板を使って安否の確認ができます。

命を守るために  
まずは自分の命を守るのが大切。  
小さくまとめた持ち物のみで避難しよう。

生活を続けるために  
日常生活を続けることができるように  
必要なものを備えておこう。

災害時の連絡・安否確認に使えます

● NTT災害用伝言ダイヤル  
171で安否確認ができます。公共電話・一般電話・携帯電話から利用可能。171へ電話をして音声ガイダンスに沿って操作しましょう。

● 災害用伝言板  
大きな地震などが起きた時は、携帯電話(NTTdocomo・au・softbank)から災害用伝言板を使って安否の確認ができます。

6

5

27

## 7

# これだけは備えておこう!

せな

**生活に必要なもの**

- 懐中電灯 ラジオ
- 電池 マッチ
- 手袋
- マスク(防じん用)
- 救急医薬品
- ヘルメット・防災ずきん
- ティッシュペーパー
- 毛布
- 簡易トイレなど

**飲み水**

- 家族3日分の水 (ひとり1日3リットル)

**食・べ物**

- 家族1週間分の食べ物 (非常食3日分を含む)

**衣類・はき物**

- 上着・下着など
- くつなどのはき物

大きな地震のときはタンスや本棚が倒れてきてケガをすることがあります。家具やテレビは柱などに固定し、家族がケガをしないようにしましょう。

自分の家で生活を続けるためには、いろいろな準備が必要なんだね。持ち出すときは、家族で分担しよう。

## 8

# ちゅうい情報・けいかい宣言って?

せんけん

東海地震が起きそうなときなどには、つぎの3つのお知らせが出ることになっています。

**東海地震 ちゅうい情報**

東海地震に関連する  
東海地震 ちゅうい情報

**東海地震 ちゅうい情報**

先生や家族の人と  
いっしょに行動しましょう。

**東海地震 けいかい宣言 (よち情報)**

安全なところで  
地震にそなえましょう。  
先生や家族の人と  
いっしょに行動しましょう。

東海地震が起きそうなときなどには、つぎの3つのお知らせが出ることになっています。

ちゅうい情報やけいかい宣言(よち情報)が出たら...

学校にいるとき

先生の指示にしたがって行動しよう。

家族で決めておこう

学校へ行く途中  
学校から帰る途中

家に行くか学校に行くかを決めておこう。  
(海に近い場合は、高台の避難場所を決めておこう)

家族で決めておこう

外にいるとき

すぐ家に帰ろう。  
(家に帰れないときに行くところを決めておこう)

家族で決めておこう

家にひとり  
いるとき

家族や親戚の人に連絡しよう。  
(電話番号を書いておこう)

家族で決めておこう

地震ってなめに? 2012年度版 だいいちてび

## 【講義のまとめ】

### 「地震と津波」

#### 講義を設定するにあたって

受講生の「地震や津波がきたら街がどうなるか」、「南海トラフの大地震が心配だ」、「地震での火災の対処の仕方が知りたい」という不安や要望に応えるために、この講義を設定した。

地震については2007年の講義「地震はなぜ起きるのか」で扱っている。今回は2011年3月に起きた東日本大震災の様子を映像で確認しながら、地震の仕組みや甚大な被害をもたらした津波の危険性について理解を深められる内容を設定した。併せて、建物が地震で揺れる様子を模型を使った簡単な実験を行うことで、体験的に理解できるようにしたいと考えた。

#### ＜重視した点＞

- ①講師が受講生の特性を理解した、大学の専門的な研究者であること。
- ②参加者に内容を分かりやすく伝えるために、ビデオなどの視覚的教材を活用すること。
- ③話を聞くだけでなく、建物を模した模型をもとに、建築物の構造と地震の揺れの関係を分かりやすく伝える。

#### 講義の内容

##### ①地震ってなあに？

「地震ってなあに？」

→参加者から「逃げる」「身を守る」「地面が揺れること」という意見が出る。

「簡単に言うと地面が揺れること…しかしトラックが通ったときの地面の揺れは地震とは言わない」

「地震が起きるとどうなる？」「地震が海底で起こると津波がくる」

##### ②東日本大震災、阪神・淡路大震災の様子の映像、写真を見ながら説明を聞く。

###### ＜岩手県久慈港、千葉県津波の映像＞

- ・津波のスピードは50m16秒で人よりも速いスピードである。もっと速いものもある。
- ・津波の心配があるときは、高い所へ避難する。情報が間に合わないときもある。
- ・海が盛り上がるという違う形の津波も存在する。海の近くに住む人も知らない人が多い。
- ・津波は、大きい波が50、60分おきに5、6回繰り返してくる。1回目の津波が一番大きいわけではない。

###### ＜宮城県気仙沼の津波から逃げる人々の写真＞

- ・写真を見て…避難できた人で荷物を持っている人は少ない。荷物を取りに帰った人たちは間に合わなかった。 → 防波堤が津波から守ってくれる、津波が来るまで20～30分はかかると考えていたため。
- ・「津波でんでんこ」…地震がきたら、荷物や他のものを捨ててとにかく高いところへ避難すること。

###### ＜阪神・淡路大震災、新潟中越沖地震の写真＞

- ・家具の倒壊、建物や道路の崩れ、火事、山崩れの様子

##### ③地震の揺れ（震度とマグニチュード）

- ・震度…地面の揺れの強さ（0～7）
- ・マグニチュード…震源地の奥深くの地面の揺れの大きさ
- ・激しく揺れる場合→「緊急地震速報」が流れる。（テレビ、携帯電話、ラジオなど）  
「激しく揺れたらどうする？」…自分の身を守る。
- ・「おはし」おさない、はしらない、しゃべらない→でも走ることが必要なときもある。

##### ④揺れの実験

###### 1. 参加者の前で実演

- ・家の模型の下にクッションを置き、机を揺らす。  
→柔らかいクッションの場合は家が揺れやすい。
- ・家の向きを変えて、机を揺らす。  
→揺れの向きと垂直の壁があると揺れにくい。

###### 2. 参加者に家の模型の原紙を配る

- ・模型を組み立て、壁がある場合とない場合の揺れの違いを比べる。  
→壁を入れたほうが揺れにくい。



## ⑤まとめ

地震がきたら激しく揺れると家具が倒れたり、家が崩壊する恐れがある。

→硬い地面に家を建てて、筋交い（すじかい）を入れることが大切である。

## スモールワークの様子（アンケートの記述から 原文のまま）

【社会人・学びのパートナー】

<内容について、感想など>

<社会人>

○楽しかったです。(7)

○工作が難しかったけど、学生さんに教えてもらいました。津波が色々な種類で来るのがわかりました。

○いろんな動画を見せてもらってすごく勉強になりました。今後参考にしたいです。

○紙で作った家で実験できる、筋交いや壁を入れると揺れなくなる、家の向きによって揺れ方が違う事が分かった。

○東海地震が起きる30年後の将来が心配。

○地震に気をつけたい。(3)

○大きな地震がこわくなってしまいました。津波も大変ですね。

○いい話でした。(2)

○地震がおきたら、こわくてにげられるか心配だったけど、今日の講義を聞いて、にげることの大切さを分かりました。

○地震と津波の恐ろしさを知りました。津波がくるまえに高い所へ避難することを覚えました。

○勉強になりました。

○備えあれば憂いなし。

●工作は難しかったです。(3)

△自分の身を守って、自立に向かって行きたいと思っています。よい機会があったら、静岡大学に行かせて頂きます。今度は、自立に向かっての行動を教えてくださいませんか。

△パートナーの学生の方といっぱいしゃべってとてもよかったとおもいました。

<学びのパートナー>

○地震に備えたい。

○みなさん家をつくるために頑張っていた。

○地震がおきて津波がくる場合は、自分の身を守るために速く避難しなければならないと実感しました。

○筋交いを入れるだけで紙は補強されることが分かりました。

○皆さん楽しそうにしていました。

○津波はこわいなと思った。映像があったので、わかりやすかった。

●少し障害のある方には難しかったように思いました。津波が来たら「にげる」ということを伝えたかったと思いますが、雰囲気的に、わかっていなさそうとか、伝わってなさそうだと思ってしまいました。工作は少し、作業化していたため、趣旨を理解しにくいようでした。

●工作の作り方が難しかったと思う。(4)

<その他>

○時と場合によっては、走ることが必要。地震発生後、津波がくるまで20分～25分後、時間があるように感じるが、もたもたしていたら間に合わない。

## 講義を聴いて

- ・強い記憶として残っている東日本大震災の時の実際の映像を見ながら説明を受けることで、参加者の方々は真剣な表情で集中して講義に参加している様子であった。そして、地震の恐ろしさや対策の大切さを感じることができたように思う。
- ・模型を使用した実験により、筋交いや壁を入れると揺れなくなる、家の向きによって揺れ方が違う事など、地震に対する理解を分かりやすく深めていくことができたと考える。工作が難しいとの意見も聞かれたが、学びのパートナーの方々との共同的な学びにより、楽しみながら学習することができたと考える。

(山梨美雪、齋藤 望)

【講義】

楽器のお話

北山 敦康、志民 一成、長谷川慶岳

「楽器のお話」



サキソフォンの北山先生



ホースで音を出す志民先生



三重奏 (ピアノは長谷川先生)



ビンやペットボトルで音を出してみる受講生

## 【講義のまとめ】

### 「楽器の話」

#### 講義を設定するにあたって

受講生の方々は歌や音楽などに興味関心を持っている方が多い。事前に聞き取りをしたところ、「音楽は好きだけれど、そもそも、楽器からはどうやって音が出るか興味がある」「音が流れる楽器の仕組みについて知りたい」などの意見が多く聞かれた。そこで、今回の講義では、音楽に親しみながら、楽器の仕組みに焦点を当てた講義を設定することにした。

#### <重視した点>

- ①講師が受講生の特性を理解した、大学の専門的な研究者であること。
- ②参加者に興味を引き付け、内容を分かりやすく伝えるために、楽器の演奏を交えながら説明する。
- ③音の出る仕組みを理解できるように、身近な道具で音を鳴らす体験的学習を取り入れる。

#### 講義の内容

##### 1 楽器の紹介

楽器には、その構造や音の出し方によっていろいろな種類がある。

##### ①金管楽器

金管楽器とは、金属でできている楽器。唇の振動を楽器の中にある空気に伝えることで、音を出す。

トランペット 代表的な金管楽器。形を変えながら、親しまれてきた。

ポストホルン ドイツ郵便配達に使われたのがはじめ。昔で木で作られていた。

角笛 象牙を材料としている。独特な形。

ディジェリドゥ オーストラリアのアボリジニの楽器。ユーカリの木でできている。

(演奏) 「トランペット吹きの子守唄」 曲：アンダーソン

tp・志民一成先生 pf・長谷川慶岳先生

##### ②木管楽器

木でできているのではなく、音の出し方が金管楽器と違うものを木管楽器という。

サクソフォン 金属でできている。マウスピースが付いている。

クラリネット ケーンという植物でできた、リードがついている。

##### 2 楽器の演奏

sax・北山敦康先生 pf・長谷川慶岳先生

「月の砂漠」 曲：佐々木すぐる 詞：加藤まさる

「里の秋」 曲：海沼賓 詞：斉藤信夫

##### 3 演習 「壇で音を出してみよう」

身近なものでも、音を出すことができる。

実際に壇やペットボトルに息を吹き込み、音を出す体験をした。

##### 4 楽器の紹介

壇やペットボトルと同じ仕組みで音を出すもの。

尺八 日本の楽器。

フルート

##### 5 楽器の演奏

sax・北山敦康先生 tp・志民一成先生 pf・長谷川慶岳先生

「聖者の行進」 黒人霊歌

「アイルランドの野薔薇」 曲：エドワード・アレクサンダー・マクダウェル



## 6 まとめ

楽器にはいろいろな種類があり、昔から形を変えながら人々に親しまれてきた。身近なものでも簡単に音を出すことができるので、楽器を身近なものに感じ、親しんでほしい。

### スモールワークの様子（アンケートの記述から 原文のまま）

#### 【社会人・学びのパートナー】

##### <内容についての感想など>

##### <社会人>

- 今日の楽器の話はまったく分からなかった。でも音楽は大好きです。
- もっといろんな楽器が知りたいので是非またやってほしいです。(2)
- トランペットが上手でした。(2)
- 楽器を紹介してくださるだけでなく、演奏もして下さったのでものすごく伝わりやすかったです」。音楽ってやっぱりいいです。
- 私の姉をやっている音は聞いていたけど、とってもきれいでした。
- 色んな楽器を見ることができた。学生の時に見たのも出てきた。知っている曲も聴けました。楽しかった。(5)
- とても良かったです。学生の時に発表会にも行っています。色々な曲も聴いています。エンジョイ音楽もやっています。トランペットも大好きです。
- 浜松市浜北区でもやってほしいです。
- お話ばかりでなく、音楽をたくさん聞くことができたのでくつろげた。お話も楽器の話が中心でした。どこの楽器か紹介してくれたので分かりやすかったです。
- ビンが楽しかったです。(2)
- 音楽は深いなと思った。
- 難しかったです。もっと勉強したいと思いました。(3)
- 演奏の音がすごかったです。またリクエストしたいです。校歌をリクエストしたいです。
- トランペット、ピアノの曲が良くて楽しかったです。(2)
- 音楽の話はとても楽しかった。(2)
- 先生たちのミニコンサートが素晴らしかった。

##### <学びのパートナー>

- 昔の楽器を見ることができて良かった。
- 楽器の歴史や仕組みについて学ぶことができて良かったです。日本の楽器の尺八も出てきて良かったです。
- ビンやペットボトルに息を吹きかけるだけで音が鳴るのはすごいなと思いました。身近な道具を使って様々な音が出ることを知りました。(2)
- 色々な見たこともない楽器が見れて社会人の皆さんが興味を持つことができている良い講義だと思いました。(2)
- ポストホルンやナチュラルトランペットなど珍しい楽器の音が聴けてとても楽しかったです。
- 素晴らしい演奏でした。(3)
- 同じテーブルのみんなでも楽しむことができました。すごく良かったです。きれいで感動しました。(2)
- とても楽しかったです。拍手などで参加できて良かったです。
- ホースだけでも楽器になることに興味を持ちました。
- 参加者さんの楽しい表情が印象的だった。

### 講義を聴いて

- ・楽器の紹介では、実物を見せていただいたり、実際に演奏を聞いたりすることで、楽器への理解が深まり、興味を持つことができた。
- ・演習では、楽器を身近なものに感じる事ができた。また、「こうするとうまくできるよ」や「音が鳴ったよ」など学びのパートナー同士でのやりとりも多くみられ、楽しい雰囲気の中での学びとなっていた。

(西塔卓也、齋藤 望)

【講義】

携帯電話の安心・安全

水野 等

保存版

こんなときはどうするの？

# ケータイ対処法

あれこれ



ルールとマナー



トラブル



災害



ブロック



トライ

**生活の安全に関する悩み事、困り事のご相談は…**

**警察相談ダイヤル #9110** ダイヤル回線からはかかりません。最寄りの警察署の相談窓口をご利用ください。

**トラブルにあった場合のご相談は…**

- **都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口**  
迷惑メールや架空請求などインターネット上のトラブルに関する場合の、相談窓口・情報受付・事例紹介をしています。  
<http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>
- **誹謗中傷などの人権についてのご相談は…**
- **人権相談所(法務局・地方法務局)**  
子どもの人権110番  
いじめや体罰などの子どもの人権についての専用相談電話です。相談は無料。  
【電話】0120-007-110 (ゼロゼロ七のひやくとおぼん)  
※受付時間：平日午前8:30から午後5:15まで IP電話など、一部の電話からはつながりません。  
みんなの人権110番(常設人権相談所)  
全国の法務局・地方法務局では常設人権相談所を設置し、人権相談を受け付けています。  
【電話】0570-003-110 (ゼロゼロ三のひやくとおぼん)  
※受付時間：平日午前8:30から午後5:15まで 最寄りの法務局・地方法務局につながります。  
IP電話など、一部の電話からはつながりません。

**迷惑メールに関するご相談は…**

- **日本データ通信協会「迷惑メール相談センター」**  
広告宣伝に関する迷惑メールやチェーンメールの電話による相談を受け付けています。  
法律違反の迷惑メール情報の受付も行っています。  
【電話】03-5974-0068 (午前10:00から午後5:00まで 土日祝日・年末年始を除く)  
【パソコン】<http://www.dekyo.or.jp/soudan/>  
【モバイル】<http://www.dekyo.or.jp/soudan/m/>  
<http://www.dekyo.or.jp/soudan/chain/mobile/>
- **日本産業協会**  
オプトイン(請求・承諾)していない広告メールの情報提供窓口です。  
<http://www.nissankyoo.or.jp/>

発行：株式会社NTTドコモ 2012年7月

©2012 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved

こんなときはどうするの？



歩いているときや  
自転車に乗っているときに  
突然、ケータイが鳴った場合



歩きながらや、自転車に乗りながらの  
ケータイの使用は危険です。  
絶対にやめましょう。



【解説】公共の場におけるルールやマナーを守りましょう。  
ケータイはいつでもどこでも通話・通信ができるようになり、機能やサービスも進化する一方、使用者のマナーの欠如が社会問題になっていきます。みんなが互いに気持ちよく過ごすため、ルールやマナーをきちんと守りましょう。

■ルールやマナーを守らなければならない主な公共施設

病院

学校

美術館

図書館

映画館

バスや電車

## ケータイと正しく付き合うために！

ケータイは通話やメールだけでなく、インターネットを使って世界中の人々と気軽にコミュニケーションがとれる、大変便利なツールです。しかしその反面間違った使い方をすると、犯罪やトラブルに巻き込まれたり、自分自身が加害者になってしまいう可能性もあります。そのようなことがないように、ケータイとの正しい付き合い方をしっかりと理解することがとても大切です。

ルールやマナーを守って、正しく使いましょう。  
それがケータイを持つことへの「責任」です。

【ケータイで被害者・加害者にならないための約束】

周囲に迷惑を  
かけない

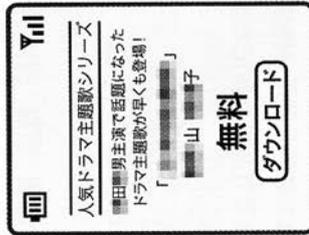
決められたルールは  
絶対に守る

困った時は  
すぐに相談する

自分の身は  
自分で守る

こんなときはどうするの？

## インターネット上で 無料の音楽配信サイトを 見つけた場合



**!** 無料だからといってすぐに  
ダウンロードしてはいけません。

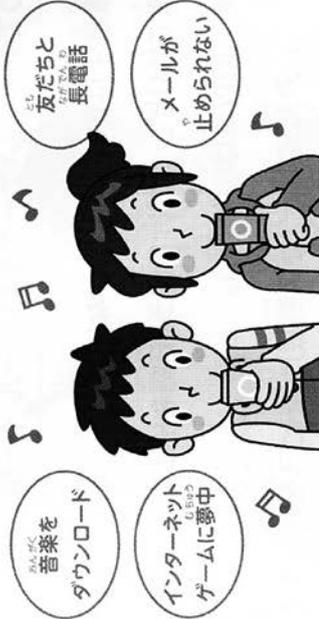
**[解説]** その行為が法律違反になることも…。

インターネット上には、著作権者に断りなく違法にコピーされた音楽や映像が数多く出回っています。著作権を侵害した配信と知りながら音楽や映像をダウンロードすることは、個人的に楽しむためであっても違法となります。権利者の許可をとって音楽や映像などを配信しているサイトの多くには「エルマーク」が表示されていますので、このマークがあるサイトからダウンロードしましょう。 エルマーク▶



こんなときはどうするの？

## ケータイの使い過ぎを 防ぎたい場合



**!** 「毎月の料金」「使用時間」  
「ケータイの使い方」についてのルールを  
あらかじめ決めておきましょう。

**[解説]** ケータイに振り回されていないか確認しましょう。

「深夜でもケータイ使用がやめられない」「友だちのメールは5分以内に返す」などケータイに振り回されると、日常生活に支障をきたす恐れがあります。また、無自覚なケータイ使用は高額請求の可能性もあります。そうならないためにも、ケータイ使用のルールをあらかじめ家族で決めておきましょう。



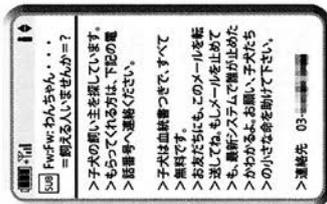
こんなときはどうするの？



### 迷惑メールが届いた場合



架空請求詐欺メール



チェーンメール

**迷惑メールは無視してそのまま削除!**  
絶対に返信・転送しないように  
しましょう。



**[解説]** 迷惑メールの手口は悪質巧妙化しているので要注意。

迷惑メールは、様々な内容で受け取る側の同意なしに一方的に送られてきます。出会い系サイトに誘引するもの、悪質なサイトに誘導するもの、お金をだまし取ろうとするものなどがあり注意が必要です。

チェーンメールについて  
複数の人に転送を呼びかけるメールは、どんな内容であっても「チェーンメール」という迷惑メールです。メールを受け取った時点では被害者ですが、転送することによって加害者になってしまいます。

こんなときはどうするの？



### サイトを通じて知り合った人が “会おう”と言ってきた場合



**危険な目にあうかもしれないので  
相手が同性や同世代だと思っても  
絶対に会ってはいけません。**



**[解説]** 大人が子どもに“なりすまし”しているかもしれない。

「出会い系サイト」「非出会い系サイト」を問わず、サイトを通じて他人と出会い犯罪やトラブルに巻き込まれる事件が多発しています。出会い系サイトは絶対に利用してはいけません。また非出会い系サイトでも、サイトを通じて知り合った人とは絶対に会ってはいけません。

- 出会い系サイトから身を守る3つのNO!
- 見ない!
  - 書き込まない!
  - 絶対に会わない!

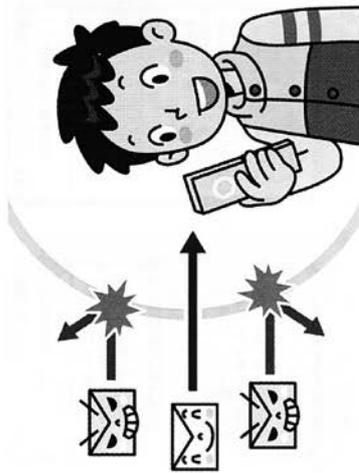
警察庁 サイバー犯罪対策より  
<http://www.npa.go.jp/cyber/deal/index.html>



こんなときはどうするの？



迷惑メールの受信やあやしい  
サイトへの接続を防ぎたい場合



フィルタリングサービスや  
メールの受信/拒否設定を利用しましょう。

【解説】ケータイの機能やサービスを使ってトラブルを回避しましょう。

- |              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| ケータイには事前の設定  | ケータイの主な機能                         |
| で、様々なトラブルを未然 | ●受信/拒否設定：迷惑メールをブロック               |
| に防ぐことができる機能  | ●ロック機能：第三者の不正使用をブロック              |
| やサービスがあります。  | ●登録外着信拒否：<br>電話帳登録以外の番号からの着信を拒否   |
| それぞれの基本サービス  | ネットワークサービス                        |
| は無料なので、積極的に  | ●フィルタリングサービス：<br>有害サイトへのアクセスをブロック |
| 活用しましょう。     |                                   |

安心・安全のために！



家族でケータイのルールを  
決めましょう！

決めておきたいケータイのルール〈一例〉

- 食事中はケータイを使わない。
- 家ではリビングだけで使う(充電もリビングです)。
- 夜\_\_時以降は使わない。
- フィルタリング(アクセス制限)サービスを利用する。
- 自分や人の個人情報を書き込まない。
- 困ったときはすぐに家族や学校の先生に相談する。
- 毎月のケータイ料金は\_\_円まで。

一度決めたルールも“定期的”に見直し、友だち関係や  
興味の変化などに応じたルールに作り直しましょう。

※NTTドコモではルール作りのポイントや知っておきたい情報を  
ホームページで詳しく紹介しています。

ドコモ 我が家のケータイルール

検索

## 【講義のまとめ】

### 「携帯電話の安全・安心」

#### 講義を設定するにあたって

社会人であれば誰でも持っている携帯電話やスマートフォンであるが、その進歩は目覚ましく、科学技術の進歩の代名詞として扱われ、便利な使い方が次々に提案されている。一方でこれらの通信機器を介して様々な問題や危険性が指摘されてもいる。

今回はその仕組みについて理解し、また、そこに潜む危険にも注意を払いながら、安全に利用するためのポイントについて知ることを目的に、講義を設定した。

#### 講義の内容

##### 第1部 ～NTTドコモの事業概況等～

- ・携帯の進化とサービスの進化
  - 第1世代の10年
    - 自動車電話→ショルダー→携帯へと発展
  - ヒルラー式が一般技術
- ・携帯電話のつながる仕組み
  - 移動体通信における4つの特徴
    - ①位置登録→②ハンドオーバー→③発信→④着信
- ・ドコモの企業理念
  - 社会インフラを担う企業としての社会的責任の遂行
  - スマートライフの実現に向けたとりくみ。「スマートライフのパートナーへ」
  - ドコモのクラウド「一人ひとりのスマートライフの実現を目指す」
  - 新領域への取り組み
    - 「メディア・コンテンツ事業」「コマース事業」「MLM事業」「金融決済事業」
    - 「メディカル・ヘルスケア」「アプリケーション・プラットフォーム事業」
    - 「環境・エコロジー事業」
- ・スマートフォンの活用例
- ・ドコモのCSR活動
  - 「携帯安全教室」「ドコモビル会社見学」「『ドコモの森』整備活動」
  - 「地域での清掃活動の取り組み」「ドコモビル周辺の緑化活動と清掃活動」
  - 「東海4県下における少年スポーツ教室への取り組み」「使用済み携帯の回収」
  - 「東山動物園との連携」
- ・ドコモの安心安全対策
  - 「大ゾーン基地局の設置」「停電時の電力確保」「バッテリー24時間化」
  - 「災害用音声お届けサービス」「緊急速報『エリアメール』」



##### 第2部 ～携帯安全教室～

- 「携帯をどのように使っている？」
  - 「地震のとき」、「ダウンロード（音楽 映画 ゲーム）」
- 「スマートフォンは使ったことがある？」
  - 「ある」と答えた方が多い
- 「みんなが知っているスマートフォンにも、ちょっとしたトラブルの危険性があるよ。」
- ・ドラマを見る。
  - (歩き携帯、スパムメール、不正アプリの映像が流れる。)
  - スマートフォンは便利だけではない、パソコン同様にウイルス感染の対策をすることが大切。
- ・演習（グループごとに裏表に○×描かれたボードが1枚用意されている）
  - 「勝手に写真を撮ってはいけないものはどれ？」
  - ①ノラネコ ②お店の雑誌 ③知らない人の顔 ④友達 ⑤風景 ⑥美術館の絵
  - (グループごとに5分ほど考える)
  - 答え合わせ（1問ごとグループで○か×のボードをあげる）
  - ①ノラネコ→○ ②お店の雑誌→×（雑誌が売れなくなるため） ③知らない人の顔→×

- ④友達→×（撮る前に許可をもらう） ⑤風景→○ ⑥美術館の絵→×  
 ・携帯は、「人と仲良くするためのもの」「安心して暮らせるためのもの」。使いすぎに注意しよう。

## スモールワークの様子（アンケートの記述から 原文のまま）

### 【社会人・学びのパートナー】

#### <内容についての感想など>

#### <社会人>

- 長年使っているけど機能がわからなかったけど今日わかりました。
- とてもよく分かりやすかったので良かったです。（2）
- メールのことをみたことがありました。占いのことを作ってほしいです。料理のことを見えています。
- 自分がどう使っているのかみなおされました。今後どうつかっていくか考えて使っていきます。
- ケータイでニュース、BeeTVに映って地震とかおもしろいです。
- ケータイ電話でできること、新たな取り組み等を紹介してもらいました。災害時でも電話が使えるようにしている。通信制限時の電話の使い方も話してもらえてとても良かったです。
- けいたい電話の安心、安全性がとても疑問に思いました。
- 携帯電話のお話がむつまじかったです。（3）
- クイズがおもしろかったです。（2）
- ドラマを見てスマホの使いすぎはよくないと思いました。
- 知らないことがあったのでとても勉強になりました。
- 使い方の勉強になりました。クイズも勉強になりました。（3）
- けいたいの話がうまくできました。
- スマートフォンを歩きながらやっているとき駅でも人がスマートフォンをやっていると、人に押しつけて線路に落ちてしまうと電車にぶつかる。だから、ちゃんと前を向き歩くように警察も呼びかけています。
- この講義を聞いて、ケータイのクイズとドラマを見て、やっていいことと悪いことや、説明を聞いたりしたことが疑問に思いました。
- 携帯電話も便利だが、使い方によって違反になるがわかりました。裏と表があるなと思った。（2）
- まだ携帯電話使ったことないので、そろそろ使おうかなと思うけど、親が反対しているのでいい勉強になりました。（2）
- 使ってはいけないときドコモでよかったと思っていました。
- 後半のお話がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ケータイについて説明がわかりやすく傍聴したと思います。

#### <学びのパートナー>

- 最後のクイズが楽しかったです。社会人の方もとても興味を示していました。盛り上がった（5）
- 前半の話が難しめだと感じました。少し早口だった。（3）
- 第2部は良かった。
- 携帯に依存しすぎないようにしたいと思った。
- 参加者のみなさんには少し難しかったかもしれないです。肖像権の○×クイズは勉強になりました。
- 安心・安全講座で参加者さんの関心をもちなおすことができたように感じました。

## 講義を聴いて

会社の事業内容や携帯電話で会話やメールができる仕組みは、少し難しく感じた方が多かったように思う。しかし、ドラマを通して考えるウイルスなどの危険性やトラブル、そして、クイズ形式で考えた携帯電話の安全で適切な使い方については、日常生活にも直接関係してくる内容で、興味を持って学習することができたと思う。

（品川綾香、山梨美雪、齋藤 望）



## 【資料編】

授業後のアンケート集計結果(社会人・学生)

学びのパートナーとして、いっしょに受講して  
これまでの「学ぶって楽しい！ー大学で学ぼうー」

スタッフ名簿

## 授業後のアンケート集計結果（社会人・学生）

各講義の終了後に行った4回のアンケートの結果をまとめると以下の通りである。

### ○講義1「くだもの（果実）は何でできている？」～花と果実を科学の目でみる～

質問①講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

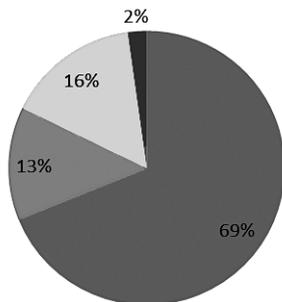
回答①わかりやすかった31名（69%）、ふつう6名（13%）、むづかしかった7名（16%）、無回答1名（2%）

質問②講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②楽しかった37名（82%）、ふつう5名（11%）、つまらなかった2名（5%）、無回答1名（2%）

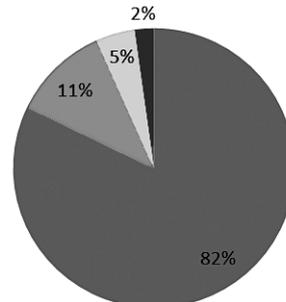
#### 講義の分かりやすさ

■わかりやすかった ■ふつう ■むづかしい ■無回答



#### 講義の楽しさ

■たのしかった ■ふつう ■つまらなかった ■無回答



### ○講義2「地震と津波」

質問①講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

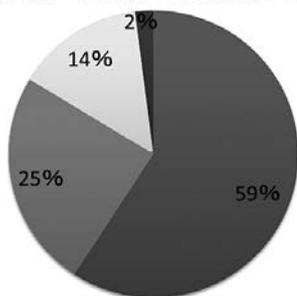
回答①わかりやすかった29名（59%）、ふつう12名（13%）、むづかしかった7名（8%）、無回答1名（1%）

質問②講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②楽しかった41名（84%）、ふつう7名（8%）、つまらなかった0名（0%）、無回答1名（1%）

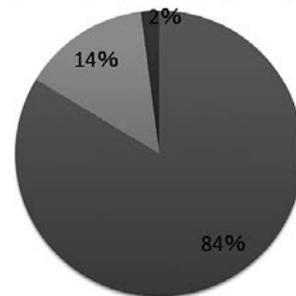
#### 講義の分かりやすさ

■わかりやすい ■ふつう ■むづかしい ■無回答



#### 講義の楽しさ

■楽しかった ■ふつう ■つまらなかった ■無回答



## ○講義3「楽器の話」

質問①講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

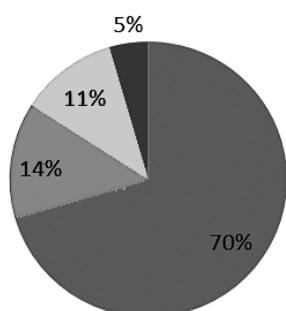
回答①わかりやすかった31名（70%）、ふつう6名（14%）、むづかしかった5名（11%）、  
無回答2名（5%）

質問②講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②楽しかった39名（89%）、ふつう2名（4%）、つまらなかった1名（2%）、無回答2名（5%）

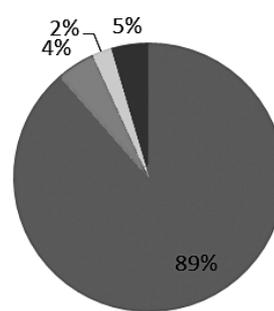
講義の分かりやすさ

■わかりやすい ■ふつう ■むづかしい ■無回答



講義の楽しさ

■楽しかった ■ふつう ■つまらなかった ■無回答



## ○講義4「携帯電話の安全・安心」

質問①講義は、わかりやすかったですか？むづかしかったですか？

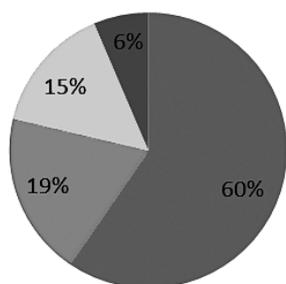
回答①わかりやすかった28名（60%）、ふつう9名（19%）、むづかしかった7名（15%）、  
無回答3名（6%）

質問②講義は、楽しかったですか？つまらなかったですか？

回答②楽しかった33名（69%）、ふつう11名（23%）、つまらなかった1名（2%）、無回答3名（6%）

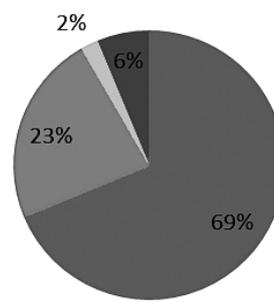
講義の分かりやすさ

■わかりやすい ■ふつう ■むづかしい ■無回答



講義の楽しさ

■楽しかった ■ふつう ■つまらなかった ■無回答



（吉田健一郎、内山 香、増田 萌、齋藤 望）

## 学びのパートナーとして、いっしょに受講して

「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」に参加した大学生の報告・感想など

静岡大学公開セミナー「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」は、障害のある人もない人も共に学ぶ、ユニバーサルな学びを目指している。セミナーが始まった当初から、静岡大学教育学部特別支援教育専攻等の学生が社会人といっしょに講義を受講し、演習（スモールワーク）に共に取り組んでいる。今回もセミナー終了後に、学生たちに学びのパートナーとして、「講義中のスモールワークの取り組み状況」についての報告や感想などを求めるアンケート調査を行なった。

### 調査の概要

- ・対象：静岡大学教育学部特別支援教育専攻等の参加学生（第16回23名、第17回33名）  
\*第16回は2年生が23名。第17回は1年生が19名で、2年生が11人、3年生が3人。
- ・調査内容：「講義中のスモールワークの取り組み状況」
- ・アンケート調査の実施期間：第16回 2013（平成25）年6月26日～7月10日  
第17回 2013（平成25）年10月22日～10月29日
- ・回答方法：選択肢回答と自由記述を併用。無記名。調査用紙配布、記入後に各自が提出。
- ・回収数：第16回21（回収率91.3%）、第17回33（回収率100.0%）

### 調査の結果

Q1 「あなたは、受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、講義中のスモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」（「大変取り組めた」「かなり取り組めた」「ふつつ」「あまり取り組めなかった」「ほとんど取り組めなかった」の5段階評定。他に「何とも言えない」もあり。評定をした理由を自由記述）（表1）

表1 「スモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」

段階	5	4	3	2	1	0
回	大変 取り組めた	かなり 取り組めた	ふつつ	あまり 取り組めなかった	ほとんど 取り組めなかった	何とも 言えない
第16回	8名 (38.1%)	7名 (33.3%)	1名 (4.8%)	4名 (19.0%)	0 (0.0%)	1名 (4.8%)
第17回	11名 (33.3%)	14名 (42.4%)	7名 (21.2%)	0名 (0.0%)	0 (0.0%)	1名 (3.0%)

「5 大変取り組めた」と「4 かなり取り組めた」を合わせると、第16回は71.4%であり、17回は75.7%である。どちらも、5段階と4段階に集中している。全般的にみて、多数の学生が、講義中のスモールワークに社会人と学生がいっしょに取り組めた、と評定した。

#### <第16回>（自由記述 原文のまま）

「他の人のコミュニケーションをとるのが苦手な人も、まわりの話すのが好きな人たちが仲間に入っていて、みんなで参加していたため」「多くの話が聞けた。笑顔が多く見られた」「分からないような様

子が見えた時に一緒に支援をした」「ペーパークラフトが少し複雑だったので、それを作るにあたってたくさん会話することが出来たし、お手伝いすることも出来たと思う」「一緒に考えながら、家の模型をつくることができたからです」（以上、評定5）、「私のグループは学生1人に対して社会人の方が5人だった。細かい作業に対して助けが必要な方が多く、1人1人へのサポートにさける時間が短く、サポートしきれなかったから」「みんなで教え合い、協力してできたから」「アイスブレイクを行ったりして周りの人と話しやすい雰囲気ができていたため」（以上、評定4）、「一緒に取り組んでくれた人もいたが、私や他の先生方が手伝おうとすると嫌がる人もいたから」（以上、評定3）、「新聞破りで、体格の良い人が通るのを嫌がったので」「アイスブレイクでは少し一緒にとりくめたかとは思いましたが、ほとんど個々の作業だったようにおもいます」「社会人：学生＝4：1だったので、全員を同時に見ることがむずかしかった。しかも、1人ひとりの性格がほんとうにちがって、全員が満足することは不可能だった」（以上、評定2）。

#### <第17回> (自由記述 原文のまま)

「それほど声かけをせずとも説明を理解してグループワークに取り組んでいた」「すごく楽しんでいるように感じた」「クイズなど、私たちも一緒になって考えたりできたからです」「対等な立場でお互いが尊重しあいながら、協力して活動できた」「話をきいて、みんなで教え合って楽しめたから」「グループ内で積極的に意見を交わしながらグループワークができたため」（以上、評定5）、「携帯についての○×クイズやビン、ペットボトルで音を出すなどの活動を積極的に行っていた」「グループの中で参加できなかった人がいたり、全員で話し合う場面ではあまり話し合いができなかった」「結晶作りや、ビンやペットボトルで音を出すなど、比較的簡単なものだったので、一緒に取り組みやすかったと思います」「一緒に歌を歌ったり、ビンの楽器を使ったりして、楽しめました」「紙で雪の結晶を作った時に、うまく紙をちぎれない方の手助けをしたり、空きビンがうまくふけるように一緒に練習をしました」「楽器の話の際、他の人のペットボトルやビンが鳴ると、“オォー”とみんな反応していたため」「お互いに声をかけあったり、笑顔であったりする様子が見られたため」「楽器づくり体験の時には、皆が協力してなるべく多くの楽器を一人ひとりが体験することができたから」「積極的に声かけを行っていた」（以上、評定4）、「携帯についての説明は難しい所が多かった。もう少し簡単な言葉に言い換えた方がいいと思った」「ケタイの話などでは、実際大人で知っている人が多いから」「興味のあるなしで、活動への参加具合が大きく変わっていたから」「前半のケタイの話は少し難しい気がした」「グループワークに関しては、あくまで、手助けに終始して、それ以上のことはできなかった」（以上、評定3）、「とりくめる人もいれば、いない人もいた。手の巧み性の問題かもしれません」（以上、評定0）。

Q2 「あなたは、受講していた知的障害のある人に、どんな場面で、どんな援助や配慮をしましたか。

援助をした人はできるだけ具体的に書いてください。特になかった人は『なし』と書いてください」（自由記述）

講義中の援助内容や方法、援助をした際に配慮したことと言及した回答について、第16回と第17回の2回分を以下に集めた。何らかの具体的な援助をした学生は51名(延べ人数)であった。「なし」は11名で、第16回は1名、第17回は10名であった。

・援助の内容や方法は、<教える・説明する（アドバイスする）（指さす）>（19件）、<問い掛ける・声掛けをする・促す>（11件）、<いっしょに作業をする（補助をする、手伝う）>（17件）、<例を挙げる・手本を見せる・ヒントを言う>（3件）、その他（4件）であった。

<教える・説明する（質問に答える）（アドバイスする）（指さす）>（以下、自由記述 原文のまま）

「講師の先生方の指示が理解できていなかったり、見本がみえない時に、“ここ折りますよ”などと支

援した」「地震に耐えうる家をつくる工程などで、作り方の指導をした」「花を作る時はどれを切って、どうやってくっつけるかについて教えました」「自分の工作のものを見せながら説明した」「実技のやり方を教えた」「山折り、谷折りの意味を教えた」「次に何をするのか聞き逃した人に教えてあげる」「実技のときに、どうやってどういったことをするのか、よくわかるよう再度説明した」「封筒の中からどの紙を出したらいいかわからないときに、どの紙を出せばいいか言った」「質問がわからない時は、説明をもう一度した」「紙で結晶を作る時に、どこの部分を切ればよいか教えてあげました」「見るプリントがわからない方に、対象のプリントを見せて案内した」「聞き取れなかった言葉を分かりやすく説明するようにした」「やり方がわからなさそうだったら適宜説明した」「雪の結晶をつくるというときに、回転のさせ方などを伝えた」 etc.

#### <問い掛ける・声掛けをする・促す・確認する>

「自分から取り組もうとしない場合に、これをやりましょうと声を掛けた」「1人1人にここはこうしましょうと声をかけながら援助した」「1つの作業の中で必ず全員に声をかけるように心がけた」「グループワークに取り組めていない人に声をかけて簡単にやり方を説明して行動を促した」「説明を受けながら、内容を理解しているかどうか確認の反復を入れた」「ハサミを使うことを促した」「手が止まっていたら声かけをした」「配られた資料の何ページを見ているのかを確認した」「説明を理解していない時はつけ足した」「なるべくたくさん話しかけた」「○×クイズで考えている答えとプレートで出ている答えが違ったときに声をかけた」 etc.

#### <いっしょに作業をする（補助をする、手伝う）>

「作業を手伝った」「家を作るのでは、谷折りと山折りが分かりづらかったようなので、お手伝いをしました」「ものづくりの時に紙と一緒に切ったり難しいものは自分がやった」「切りはりの手伝いをした」「指が上手く動かなく細かい部分ができない方の手伝いをした」「作業がわからないことは、このようにやるということと一緒にやりながら教えた」「はさみで切ることが苦手な方に、色ぬりをしてもらい、切るのを手伝った」「はりやすいように持って、はってもらった」「制作で難しいところは全てやらずテープをはるところをやってもらうなどした」「細かい作業のお手伝い」「雪の結晶作りで紙をちぎれなかった時、代わりにちぎってあげた」「紙をちぎる場面で、かたくてちぎれなかったので、少しだけ私が切り込みを入れ、そこからちぎってもらった」「講義の内容や質問の答えを分かっている、社会人にそのまま教えるのではなく、一緒に考えて話をした」「答えを教えず、一緒に考える努力をした」「受講者さんがアンケートプリントを探すことが難しそうだったので一緒に探した」 etc.

#### <例を挙げる・手本を見せる・ヒントを言う>

「うまく取り組めていない人に見本を見せて一緒にやった」「意思表示を2択でやってみせる」「ビンやペットボトルで音を出すときに、口に当てる位置を示したり見本を例示した」 etc.

#### <その他>

「司会としては、常にまわりに気を配り、しゃべるスピードや声の大きさなどに気をつけました」「はさみできりやすいように花びらを1枚ずつ小分けにした。テープを切っておいた。」「グループ全体で話せるような話題を提供した」 etc.

「援助をする際には<わからないときに><何度も（反復して）><分かるように><様子を見ていて><ゆっくりと><できないところを援助する><全員に><一緒に>といった配慮や具体的な援助の方法を取っていた。

「わからないといわれたところは、こうするということを教えた」「講師の指示を反復し、分かりやすいように言い直した」「聞きのがしてもいいように何度もアナウンスした」「実技のときに、どうやって

どういったことをするのか、よくわかるよう再度説明した」「やり方が分からなさそうだったら適宜説明した」「わかりやすく、ゆっくり話すようにした」「自分から取り組もうとしない場合に、これをやりましょうと声を掛けた」「1つの作業の中で必ず全員に声をかけるように心がけた」「内容を理解しているかどうか確認の反復を入れた」「できるところはやってもらい、できないところだけ援助しました」「答えを教えず、一緒に考える努力をした」「グループ全体で話せるような話題を提供した」 etc.

## まとめ

「受講した人達が知的障害のある、なしにかかわらず、スモールワークに全体としては、いっしょに取り組めたと思いますか」の問いに、「大変取り組めた」「かなり取り組めた」と答えた学生が71.4%（第16回）と75.7%（第17回）と多数であった。具体的な様子は自由記述の中に見られるが、総じて達成感や満足感が伺える。スモールワークでの取り組みでは、社会人の求めに応じて、また、その様子を見ながら、必要に応じて＜教える・説明する＞や＜いっしょに作業をする＞ことを中心に、＜問い掛ける・声掛けをする・促す＞ことを行っている。社会人の主体性を尊重した配慮によって、ユニバーサルな学びを実現している。

（渡辺 明広）



## これまでの「学ぶって楽しい！—大学で学ぼう—」

2005年度 第1回（通算：第1回）

	講義1	講義2
講義名	「科学って面白い —シャボン玉って超面白い—」	「人間が創る楽しさをとりまく世界」
講師	佐藤 早苗氏 シャボン玉遊び研究所主宰 元静岡県立吉原工業高等学校校長	東 俊光氏 静岡大学教育学部教授 元静岡大学教育学部附属養護学校校長
講義概要	いろいろなシャボン玉作りを実演し、シャボン玉の秘密をおもしろクイズで解きながら、驚きと感動と共に、その不思議を“科学してみよう”。	スケッチ旅行に訪れる機会の多いイタリアの言語と生活習慣について紹介したり、自分たちの生活と比較させたりすることで、異文化に対する興味・関心を深める。
参加者数	社会人（高校生を含む） 大学生 その他 計	41人 24人 24人 89人

2006年度 第1回（通算：第2回）

	講義1	講義2
講義名	「駿府城をもっとよく知ろう」	「隣の国に行ってみよう ～ごきげんな韓国済州島～」
講師	小和田 哲男氏 静岡大学教育学部教授	並川 欣史氏 名鉄観光サービス株式会社 静岡支店 営業係長
講義概要	城はなぜ造られたか、城の種類などを概説し、駿府城の歴史、築城した徳川家康について解説する。また、駿府城を“探検”するための見所やポイントを考える。	魅力的な韓国済州島への旅行を紹介しながら、パスポートの取り方など海外旅行をするために役立つ情報を提供する。
参加者数	社会人（高校生を含む） 大学生 その他 計	49人 35人 35人 119人

## 2006年度 第2回 (通算：第3回)

	講義 1	講義 2
講義名	「宇宙人はいる?! 宇宙の不思議」	「やっぱりサッカーは最高! 2006W杯ドイツ大会を観戦して」
講師	寺尾 理氏 前静岡県総合教育センター教授	難波 邦雄氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	地球に人間がいるように、宇宙のどこかの星には、宇宙人や生き物がいるのかなど、宇宙の不思議を分かりやすく、面白く講義する。	4年に一度開催されるサッカーW杯。今年行われたドイツ大会の観戦記やドイツの生活ぶりについて紹介する。また、氏がサッカーを通して学んだことや人との出会いについても触れる。
参加者数	社会人 (高校生を含む) 46人 大学生 25人 その他 31人 <hr/> 計 102人	

## 2007年度 第1回 (通算：第4回)

	講義 1	講義 2
講義名	「アイスブレイクからはじめよう! ～心理の世界へようこそ～」	「地震はなぜ起こる?」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	小山 真人氏 静岡大学教育学部教授
講義概要	アイスブレイクを通して、初対面の人との緊張をときほぐす。無人島SOSゲームを体験しながら、周りの人とのコミュニケーションのこつを探る。	地震や津波が起こる仕組みを、ビデオやスライドを使って分かりやすく説明する。いつ起きてもおかしくないと言われる東海地震について、震度や津波の規模を予想する。
参加者数	社会人 (高校生を含む) 46人 大学生 32人 その他 30人 <hr/> 計 108人	

2007年度 第2回（通算：第5回）

	講義 1	講義 2
講義名	「コンビニの秘密」	「モーターってなんだ？ ～ペットボトルモーターをつくろう！～」
講師	伏見 一茂氏 セブン・イレブン・ジャパン東海ゾーン ゾーンマネージャー	増田 好治氏 静岡大学名誉教授 NPO法人技術教育教材開発研究会 今田 真一氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭
講義概要	おでんが一番売れるのはいつ？一日の時間帯ごとに売り場が変わるって本当？など、クイズ形式で、身近にありながら知らなかったコンビニエンスストアの秘密に迫る。	フレミングの左手の法則やモーターの原理を説明した後、磁石と電池を使ったペットボトルモーターを作成する。はんだごてにも全員が挑戦して、モーターを完成させる。
参加者数	社会人（高校生を含む） 44人 大学生 30人 その他 35人 計 109人	

2008年度 第1回（通算：第6回）

	講義 1	講義 2
講義名	「不思議感動！科学する心とは！？」	「現代ファッション事情 ～流行は誰が考えるの？どうやって決まるの？～」
講師	熊野 善介氏 静岡大学教育学部教授（理科教育）	大橋 芳幸氏 株式会社コックス ブランド開発部長
講義概要	「実験をやりたい」という受講生の声に応えます！学びのパートナーとともに、実際に自分で作って体験し、科学の不思議にふれてみよう！	毎年発表される、流行ファッション。色や素材、形等は、誰がいつ、どのように決めているのでしょうか。実際にコーディネートしながら、どんな組み合わせがカッコイイのか考える。
参加者数	社会人（高校生を含む） 51人 大学生 34人 その他 38人 計 123人	

## 2008年度 第2回 (通算：第7回)

	講義1	講義2
講義名	「消費生活を考えてみよう」	「音楽のしくみを知ろう ～うたのはじめはドレミ～」
講師	色川 卓夫氏 静岡大学教育学部准教授 (家政教育)	北川 敦康氏 静岡大学教育学部教授 (音楽教育)
講義概要	自分の持ち物のうち「買った物じゃない」という物は、ほとんどない。買う＝消費について考える。	音楽はチョットした仕組みが分かると、より楽しくなる。ハンドサインや変わった楽器演奏に挑戦する。
参加者数	社会人 (高校生を含む) 47人 大学生 43人 その他 43人 <hr/> 計 133人	

## 2009年度 第1回 (通算：第8回)

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「人はなぜ悪いことをするのか？」	「世界へ羽ばたけ！富士山静岡空港」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	石井 潔氏 静岡大学教育学部教授同学部長	岩瀬 智久氏 静岡県空港部職員
講義概要	深呼吸でリラックス。気持ちよく相手とつきあうための距離感、席の選び方を考える。	「悪い」と分かっているのに「悪いこと」をするのは「仕方ない」から。「仕方ある」にするためには、どうしたらいいのか、社会の仕組みを考える。	6月4日に富士山静岡空港が開港。行き先は？空港の施設は？搭乗手続きは？働いている人は？空の旅の情報が満載。
参加者数	社会人 (高校生を含む) 51人 大学生 23人 その他 33人 <hr/> 計 107人		

2009年度 第2回（通算：第9回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「TVCMっておもしろい！！」	「60分ヒップホップマスター」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	佐々木 洋氏 電通東日本静岡支社クリエイティブ部 主務	中村 友香氏 静岡県立浜松特別支援学校 教諭
講義概要	フィーリング グッド効果 場所や雰囲気がよいと気分がよくなって仲よくなれる。	1本を作るのに10億円かかるCMもある。TVCMは、あの手この手を使って、私たちの気を引き、メッセージを送っている。	みんなで楽しくヒップホップに挑戦。ストレス発散、集中力もアップ。チームで踊ればパワー100倍。
参加者数	社会人（高校生を含む） 53人 大学生 36人 その他 34人 <hr/> 計 123人		

2010年度 第1回（通算：第10回）

講義名	演習	講義
	アイスブレイク ～学びのなかま～	「描くことの魅力を探ろう ～色やかたちを見つめて～」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	高橋 智子氏 静岡大学教育学部教授（美術教育）
講義概要	アイコンタクト 表情の中で、視線は特に重要。相手の目を見つめよう。目を合わせると笑顔になる。	クロード・モネの作品を鑑賞しながら、対象物を見る、とはどういうことなのかを考える。実際に「身近な植物」をモチーフに、えんぴつでスケッチをし、水彩絵の具で色を塗り、作品を完成させる。
参加者数	社会人（高校生を含む） 52人 大学生 35人 その他 40人 <hr/> 計 127人	

## 2010年度 第2回（通算：第11回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「日本の食文化を知ろう！」	「世界の人と『こんにちは』」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援学校 教諭	新井 映子氏 静岡県立大学 食品栄養学 部 教授	案野 香子氏 静岡大学 国際交流セン ター 准教授
講義概要	笑顔がつくる好印象 言葉の最後に無言の「イ」をつけよう。すてきな笑顔の基本です。	昔の日本人は何を食べていたのかな。お米を食べ始めたのはいつからだろう。原始の時代から現代まで、食べ物や食べ方の移り変わりを学ぶ。	世界にはいろいろな国がある。オーストラリア、韓国、フィリピンからの留学生に、母国での暮らしや、日本や静岡の印象を聞く。
参加者数		社会人（高校生を含む） 大学生 その他	46人 36人 34人
		計	116人

## 2011年度 第1回（通算：第12回）

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「体力向上のポイント」	「最新家電事情～家電の使い方、選び方で省エネ」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援学校 教諭	伊藤 宏氏 静岡大学 教育学部教授 (保健体育教育講座)	西谷 貴史氏 株式会社コジマ CRS推進室
講義概要	力を入れたり抜いたりすることでリラックスしよう コミュニケーションの基本はあいさつから	体力向上のポイントは寝ること、歩くこと。運動を上手に続けると、心が強くなり、体が丈夫になる。常に問いかけ、不思議に思う気持ちを持ち続けることで、心も生き生きと。	エアコンは夏より冬の方が効率的？テレビは大きいほど電気代が安くなる？いろいろな問題を考えながら、家電の使い方で省エネにチャレンジ。
参加者数		社会人（高校生を含む） 大学生 その他	58人 26人 41人
		計	125人

2011年度 第2回（通算：第13回）

講義									
講義名	登呂ムラ歴史探訪～弥生人の生活を追え！								
講師	稲森 幹大氏 登呂博物館 主任主事 菊田 宗氏 静岡市生活文化局文化スポーツ部 文化財課 主査								
講義概要	なぜ登呂ムラができたのか。登呂ムラの人々の住居は？食事は？服装は？今回は、初めてのフィールドワーク。静岡大学のキャンパスを出て、現地「登呂遺跡」へ。博物館や遺跡を実際に歩いて、見て、聞いて、体験して、当時の人々の生活に思いを馳せる。								
参加者数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">社会人（高校生を含む）</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">大学生</td> <td style="text-align: right;">31人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">その他</td> <td style="text-align: right;">35人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">116人</td> </tr> </table>	社会人（高校生を含む）	50人	大学生	31人	その他	35人	計	116人
社会人（高校生を含む）	50人								
大学生	31人								
その他	35人								
計	116人								

2012年度 第1回（通算：第14回）

	演習	講義1	講義2								
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「グラフの話～点と線でできた図形を数学的に考えよう」	「ロンドンオリンピック開幕！～イギリスへの旅」								
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭	大田 春外氏 静岡大学 教育学部教授 (数学教育教室)	勝又 勇紀氏 株式会社JTB中部 営業第二課長								
講義概要	会話にはリズムが大切。話すスピードに気をつけると話し上手に、「はひふへほ」で相づちをうつつと聞き上手になれる。	トーナメント表も電車の路線図も電子回路の基板もグラフだった！私たちの身近で、グラフはいろいろ使われている。どんな図形が一筆書きで書けるか、オイラーの定理から考える。	オリンピックが100倍おもしろくなるロンドンの話。海外旅行へ行くための手引きから、料理、歴史、観光など、イギリスの魅力を幅広く紹介する。								
参加者数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">社会人（高校生を含む）</td> <td style="text-align: right;">62人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">大学生</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">その他</td> <td style="text-align: right;">32人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">114人</td> </tr> </table>			社会人（高校生を含む）	62人	大学生	20人	その他	32人	計	114人
社会人（高校生を含む）	62人										
大学生	20人										
その他	32人										
計	114人										

## 2012年度 第2回 (通算：第15回)

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「お顔のケアで印象アップ！ ～素敵な大人をめざそう～」	「ダンスで交流してみよう ～ダンスはみんなの共通語」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援学校 教諭	上鶴 りさ氏 資生堂	山崎 朱音氏 静岡大学 教育学部助教 保健体育教室
講義概要	元気なあいさつ、話すよりも聞くこと、失敗を気にしないで自信を持つことで、対人不安を吹き飛ばそう。	自分の肌タイプをチェックした後、実際に化粧水や乳液を使って、肌の手入りを体験。女性はアイシャドウや口紅の使い方を、男性は頭皮ケアや髪、眉の手入りを学んで、素敵に変身。	ダンスは、ことばや文字が生まれる前から存在した人類最古の文化。ダンスは変化する。ダンスはコミュニケーションの道具。ダンスに正解はない。さあ、みんなで楽しく踊ろう。
参加者数		社会人 (高校生を含む) 大学生 その他	54人 44人 35人
		計	133人

## 2013年度 第1回 (通算：第16回)

	演習	講義1	講義2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「くだもの (果実) は何でできている？ - 花と果実を科学の目で見る」	「地震と津波の話」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援学校 教諭	小南 陽亮氏 静岡大学教育学部 理科教育講座 教授	小澤 邦雄氏 静岡大学防災総合センター 特任教授
講義概要	3つのR (Rest : 休憩、Recreation : 趣味、Relaxation : リラックス) を意識して、ストレスと上手につきあおう。	花は何からできているのだろう。紙で模型を作って組み立ててみると、なんと「おしべ」も「めしべ」も「はなびら」も「がく」も、みんな「葉」だった。では、果実は？	地震が起きたらどうなるのか、津波が起きたらどうなるのか、どうしたらいいのか、防災の基本を学ぶ。紙で作った建物の模型を揺らして、筋交いの効果を実感。
参加者数		社会人 (高校生を含む) 大学生 その他	48人 23人 35人
		計	106人

2013年度 第2回（通算：第17回）

	演習	講義 1	講義 2
講義名	アイスブレイク ～学びのなかま～	「楽器の話」	「携帯電話の安心・安全」
講師	大畑 智里氏 静岡大学教育学部 附属特別支援学校 教諭	北山 敦康氏 静岡大学教育学部 音楽教育講座 教授 志民 一成氏 静岡大学教育学部 音楽教育講座 准教授 長谷川 慶岳氏 静岡大学教育学部 音楽教育講座 講師	水野 等氏 ㈱NTTドコモ東海支社 総務部広報室  ほか
講義概要	人間関係をよくするためには、自分の「怒り」の感情とうまくつきあうこと。	木管楽器と金管楽器の歴史をたどりながら、音が出る仕組みを学ぶ。貴重な楽器の紹介や講師の先生方の生演奏に感動。	日々進化している携帯電話とそのサービス。安心・安全に使うためのルールやマナーを学ぶ。
参加者数		社会人（高校生を含む） 大学生 その他 計	50人 33人 44人 127人

(五條由美子)

## スタッフ名簿

### 学ぶって楽しい！－大学で学ぼう－実行委員会

(静岡県障害者就労研究会)

伊賀 匡	池上 登	大畑 智里	小倉 寛子	五條由美子
齊藤 望	柴田カヨ子	杉山 晴美	瀬戸脇正勝	田中 宏和
徳増五郎	外山 真吾	永瀬 昌子	深澤 裕子	村松智恵子
渡辺 明広				

### 静岡大学教育学部附属特別支援学校

岩附 敦史	内山 香	川原 貴之	黒岩 一雄	高山 尚子
深津 臣	増田 萌	吉田健一郎		

### 静岡県立静岡北特別支援学校

池上千穂	西塔卓也	品川 綾香	高木 亮	山梨美雪
------	------	-------	------	------

### 静岡大学教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育専攻1年

### 静岡大学教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育専攻2年

(あいうえお順)

このほかにもお手伝いいただいた方がいらっしゃったかもしれません。お名前が入っていない方がいらっしゃったら、申し訳ありません。

多くの方の御協力をいただき、ありがとうございました。

## 編集後記

この2月に、公開セミナーに毎回のようにご参加のみなさんに、セミナーに参加しての感想などを聞く機会がありましたので、ここに2つご紹介します。

- ・いつもアイスブレイクとか、ワークがよかったです。その場でもどんどん進められる力を、関わりながら自分たちで広めていくことができているような気がしました。
- ・17回を迎えることで、いつも会場もなごやかな雰囲気です。学生さんも笑顔で積極的に話しかけてくれます。グループでの活動では、みんな真剣。協力してできた喜びは大きいです。

これからも、学生のみなさんと受講生のみなさんが共に学びあえるような公開セミナーにしていきたいと思います。

公開セミナーを支えてくださっているたくさんのみなさん、ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

(五條)

2013 静岡大学公開セミナー報告集（通巻第10号）

**「学んで楽しい！－大学で学ぼう－」**

学びの内容とその支援

発行日——2014年3月20日

編 集——静岡県障害者就労研究会  
（連絡先）静岡大学教育学部 渡辺明広研究室  
☎ 054-238-4246

発 行——国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携  
推進機構（地域連携生涯学習部門）  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
☎ 054-238-4817